

多様なタイプの高校等に関するアンケート集計結果 【速報値】

1 調査目的

今後の多様なタイプの高校等の改善・充実の参考とするため実施

2 調査実施期間

令和3年(2021年)11月12日(金)から令和3年(2021年)12月21日(火)まで

3 調査対象校及び対象者

(1) 対象校 総合学科、単位制、普通科フィールド制、連携型中高一貫教育校、中等教育学校
地域連携特例校、地域連携協力校

(2) 対象者 校長、生徒・保護者(地域連携協力校除く。)
教育委員会(連携型中高一貫教育校、地域連携特例校が所在する市町)

4 回答者数

| | 生徒 | 保護者 | 校長 | 教育委員会 |
|------------|-------|-------|-----|-------|
| 総合学科 | 696 | 272 | 17 | — |
| 単位制 | 1,756 | 1,437 | 36 | — |
| 普通科フィールド制 | 137 | 99 | 7 | — |
| 中等教育学校 | 64 | 54 | 1 | — |
| 連携型中高一貫教育校 | 107 | 41 | 8 | 4 |
| 連携中から進学 | 68 | 28 | — | — |
| 連携中以外から進学 | 39 | 13 | — | — |
| 地域連携特例校 | — | — | 23 | — |
| 地域連携協力校 | — | — | 23 | — |
| 計 | 2,867 | 1,944 | 115 | 4 |

5 調査方法

対象者は、北海道電子自治体共同システム(電子申請システム)により回答

6 集計結果

| | |
|-----|----------------------------|
| 1-1 | 総合学科生徒 |
| 1-2 | 単位制生徒 |
| 1-3 | フィールド制生徒 |
| 2-1 | 総合学科保護者 |
| 2-2 | 単位制保護者 |
| 2-3 | フィールド制保護者 |
| 3-1 | 中等教育学校生徒 |
| 3-2 | 中高一貫教育校生徒 |
| 3-3 | 中高一貫教育校生徒（連携中学校からの進学者） |
| 3-4 | 中高一貫教育校生徒（連携中学校以外からの進学者） |
| 4-1 | 中等教育学校保護者 |
| 4-2 | 中高一貫教育校保護者 |
| 4-3 | 中高一貫教育校（連携中学校からの進学者）の保護者 |
| 4-4 | 中高一貫教育校（連携中学校以外からの進学者）の保護者 |
| 5 | 地域連携特例校生徒 |
| 6 | 地域連携特例校保護者 |
| 7-1 | 総合学科校長 |
| 7-2 | 単位制校長 |
| 7-3 | フィールド制校長 |
| 8-1 | 中高一貫校校長 |
| 8-2 | 連携型中高一貫教育校のある教育委員会 |
| 9 | 地域連携特例校校長 |
| 10 | 地域連携特例校のある教育委員会 |
| 11 | 地域連携協力校校長 |

対象校数：17校(美唄尚栄,札幌厚別,石狩翔陽,余市紅志,室蘭東翔,浦河,森,檜山北,旭川南,剣淵,留辺
 蘂,斜里,大空①,清水,池田,釧路明輝,標茶)
 ※ 対象校の後ろに記載の丸数字は対象学年を示す。(全学年が対象となる場合は無印)

回答者数：696名

| 質問内容 | 回答 | | | | |
|---|-------|-------|-------|------|------|
| | ①、② | ③ | ④、⑤ | | |
| ○ 多様なタイプの高校等での学習についてどのような点がよかったと思うか (①とてもよかった/②まあよかった/③どちらともいえない/④あまりよくなかった/⑤全くよくなかった) | | | | | |
| 自分の興味・関心に応じて教科・科目が選択できること | 86.8% | 11.1% | 2.2% | | |
| 自分の進路希望に応じて教科・科目が選択できること | 87.4% | 10.2% | 2.4% | | |
| 幅広い分野にわたって多様な選択科目が開設されていること | 90.2% | 8.0% | 1.7% | | |
| 進路や将来の生き方についてじっくり考えることができること | 83.2% | 12.4% | 4.5% | | |
| 地域の社会人や職業人の生き方やものの見方、考え方などに触れる機会が多いこと | 72.8% | 23.0% | 4.2% | | |
| 調査や研究、発表、職場体験など体験的な学習ができること | 77.4% | 18.7% | 3.9% | | |
| 進学希望にも就職希望にも柔軟に対応できること | 85.3% | 12.2% | 2.4% | | |
| 共通科目も職業科目も両方学ぶことができること | 82.5% | 15.5% | 2.0% | | |
| いろいろな資格が取れること | 80.5% | 17.4% | 2.2% | | |
| 選択科目の中に少人数で受ける授業があること | 76.6% | 21.3% | 2.2% | | |
| ○ 「産業社会と人間」における進路学習やロングホームルームにおける進路ガイダンスなどは、どのような点で有意義だったり役に立ったりしているか (①とてもそう思う/②まあそう思う/③どちらともいえない/④あまりそう思わない/⑤全くそう思わない) | | | | | |
| 自分がどういった分野の勉強に興味や関心があるのか明確になること | 83.0% | 14.2% | 2.7% | | |
| 自分がどのような進路に進みたいのか明確になること | 83.6% | 13.1% | 3.3% | | |
| 地域の社会人や職業人と話をしたり、学んだりする機会をもつことができること | 74.9% | 19.4% | 5.7% | | |
| 自分の関心のある職業や仕事の内容について知ることができること | 83.6% | 13.6% | 2.7% | | |
| 調査や研究、発表など、体験的な学習活動ができること | 81.3% | 15.2% | 3.4% | | |
| 高校生活での目標や高校で自分がしたいことが明確になること | 81.6% | 14.1% | 4.3% | | |
| ○ 高校入学時のことについて (①興味・関心、進路希望等に応じて科目を選択できる/②科目選択の目安となる「系列」が設定されている/③自分の就きたい職業や自分の生き方について深く考えることができる/④学年による教育課程の区分がなく、3年以上在籍し、条件を満たした年度に卒業できる/⑤いずれも知らなかった/⑥その他) | | | | | |
| 高校を受検するとき、在籍している高校についてどのようなことを知っていたか(複数選択) | | | | | |
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
| 69.1% | 65.7% | 31.5% | 11.9% | 6.3% | 1.4% |

| | | | |
|---|-------|-------|-------|
| ○ 多様なタイプの高校への進学を決めた理由について (①とても当てはまる/②まあ当てはまる/③どちらともいえない/④あまり当てはまらない/⑤全く当てはまらない) | | | |
| 自分の成績に合った高校だったから | 79.3% | 12.6% | 8.0% |
| 学びたい科目を自分で選択できるから | 80.7% | 12.9% | 6.3% |
| さまざまな分野の科目を幅広く学べそうだったから | 75.6% | 15.7% | 8.8% |
| 進学に有利な勉強ができそうだったから | 58.8% | 23.1% | 18.1% |
| 就職に有利な勉強ができそうだったから | 54.7% | 28.0% | 17.2% |
| 高校入学後に、進学と就職のどちらでも選べると思ったから | 70.0% | 17.7% | 12.4% |
| 資格を取得することができそうだったから | 66.8% | 20.1% | 13.1% |
| 他の高校と比べて通学に便利な場所にあったから | 62.6% | 15.4% | 22.0% |
| 親や先生にすすめられたから | 48.3% | 23.9% | 27.9% |
| ○ 卒業後の進路に生かせるのはどのようなことだと思うか (①とても生かされている/②まあ生かされている/③どちらともいえない/④あまり生かされていない/⑤全く生かされていない) | | | |
| 専門科目で学んだ知識や技術 | 76.4% | 17.1% | 6.5% |
| 共通(必履修)科目で学んだ知識や技術 | 74.1% | 20.3% | 5.6% |
| さまざまな自由選択科目(系列外の科目)で学んだ知識や技術 | 75.4% | 18.8% | 5.7% |
| 高校在学中に取得した資格 | 69.7% | 24.3% | 6.0% |
| 調査や研究、発表、職場体験など、体験的な学習で学んだプレゼンテーションや研究の方法 | 75.9% | 20.4% | 3.7% |
| ○ 多様なタイプの高校等に入学してよかったと思うか (①よかったと思う/②まあよかったと思う/③どちらともいえない/④あまりよかったと思わない/⑤よかったと思わない) | | | |
| | 82.2% | 14.7% | 3.2% |

対象校数：36校(岩見沢西,砂川,滝①,札幌手稲,札幌東陵,札幌白石,札幌英藍,札幌白陵,大麻,北広島,小樽桜陽,小樽未来創造,倶知安,岩内,室蘭清水丘,苫小牧南,伊達開来①,登別青嶺①,静内,函館西,市立函館,江差,旭川北,旭川西①,旭川永嶺,富良野,留萌,稚内,北見柏陽,網走南ヶ丘,遠軽,北見緑陵①,帯広三条,音更,釧路江南,根室)
 ※ 対象校の後ろの丸数字は対象学年を示す。(全学年が対象となる場合は無印)

回答者数：1,756名

| 質問内容 | 回答 | | | | | |
|--|-------|-------|-------|-------|------|--|
| | ①、② | ③ | ④、⑤ | | | |
| ○ 多様なタイプの高校等での学習についてどのような点がよかったと思うか (①とてもよかった/②まあよかった/③どちらともいえない/④あまりよくなかった/⑤全くよくなかった) | | | | | | |
| 自分の興味・関心に応じて教科・科目が選択できること | 83.3% | 13.6% | 3.1% | | | |
| 自分の進路希望に応じて教科・科目が選択できること | 86.8% | 10.6% | 2.6% | | | |
| 幅広い分野にわたって多様な選択科目が開設されていること | 79.8% | 16.9% | 3.2% | | | |
| 進路や将来の生き方についてじっくり考えることができること | 73.6% | 20.7% | 5.7% | | | |
| 地域の社会人や職業人の生き方やものの見方、考え方などに触れる機会が多いこと | 54.0% | 33.6% | 12.4% | | | |
| 調査や研究、発表、職場体験など体験的な学習ができること | 60.6% | 27.8% | 11.6% | | | |
| 進学希望にも就職希望にも柔軟に対応できること | 73.9% | 19.2% | 6.9% | | | |
| 共通科目も職業科目も両方学ぶことができること | 61.6% | 29.7% | 8.7% | | | |
| いろいろな資格が取れること | 50.9% | 37.9% | 11.2% | | | |
| 選択科目の中に少人数で受ける授業があること | 67.9% | 27.8% | 4.3% | | | |
| ○ 「総合的な学習(探究)の時間」における進路学習やロングホームルームにおける進路ガイダンスなどは、どのような点で有意義だったり役に立ったりしているか (①とてもそう思う/②まあそう思う/③どちらともいえない/④あまりそう思わない/⑤全くそう思わない) | | | | | | |
| 自分がどういった分野の勉強に興味や関心があるのが明確になること | 76.1% | 16.8% | 7.1% | | | |
| 自分がどのような進路に進みたいのが明確になること | 76.1% | 16.8% | 7.1% | | | |
| 地域の社会人や職業人と話をしたり、学んだりする機会をもつことができること | 54.0% | 32.2% | 13.8% | | | |
| 自分の関心のある職業や仕事の内容について知ることができること | 72.6% | 19.4% | 8.0% | | | |
| 調査や研究、発表など、体験的な学習活動ができること | 62.9% | 27.1% | 10.0% | | | |
| 高校生活での目標や高校で自分がしたいことが明確になること | 71.2% | 20.4% | 8.4% | | | |
| ○ 高校入学時のことについて (①学年による教育課程の区分がなく、3年以上在籍し、条件を満たした年度に卒業できる/②進路希望等に応じて多様な選択科目が開設されている/③学習の実態等に応じたきめ細かな指導を行っている/④異なる入学年次の生徒と一緒に受ける授業がある/⑤いずれも知らなかった/⑥その他) | | | | | | |
| 高校を受検するとき、在籍している高校についてどのようなことを知っていたか(複数選択) | | | | | | |
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | |
| 29.6% | 68.5% | 14.2% | 4.6% | 15.9% | 1.5% | |

| 質問内容 | 回答 | | |
|---|-------|-------|-------|
| | ①、② | ③ | ④、⑤ |
| ○ 多様なタイプの高校への進学を決めた理由について (①とても当てはまる/②まあ当てはまる/③どちらともいえない/④あまり当てはまらない/⑤全く当てはまらない) | | | |
| 自分の成績に合った高校だったから | 81.8% | 11.2% | 6.9% |
| 学びたい科目を自分で選択できるから | 61.6% | 20.3% | 18.2% |
| さまざまな分野の科目を幅広く学べそうだったから | 55.4% | 24.4% | 20.3% |
| 進学に有利な勉強ができそうだったから | 63.3% | 21.4% | 15.4% |
| 就職に有利な勉強ができそうだったから | 39.2% | 30.4% | 30.4% |
| 高校入学後に、進学と就職のどちらでも選べると思ったから | 50.8% | 22.8% | 26.4% |
| 資格を取得することができそうだったから | 38.7% | 28.9% | 32.3% |
| 他の高校と比べて通学に便利な場所にあったから | 54.4% | 12.1% | 33.5% |
| 親や先生にすすめられたから | 50.0% | 23.5% | 26.5% |
| ○ 卒業後の進路に生かせるのはどのようなことだと思うか (①とても生かされている/②まあ生かされている/③どちらともいえない/④あまり生かされていない/⑤全く生かされていない) | | | |
| 専門科目で学んだ知識や技術 | 58.9% | 31.3% | 9.7% |
| 共通(必修)科目で学んだ知識や技術 | 69.6% | 23.9% | 6.5% |
| さまざまな選択科目で学んだ知識や技術 | 72.2% | 22.6% | 5.2% |
| 高校在学中に取得した資格 | 54.3% | 34.9% | 10.8% |
| 調査や研究、発表、職場体験など、体験的な学習で学んだプレゼンテーションや研究の方法 | 60.1% | 30.2% | 9.7% |
| ○ 多様なタイプの高校等に入学してよかったと思うか (①よかったと思う/②まあよかったと思う/③どちらともいえない/④あまりよかったと思わない/⑤よかったと思わない) | 74.2% | 20.3% | 5.5% |

対象校数：7校

(札幌丘珠,札幌あすかぜ,札幌平岡,野幌,千歳北陽,北見緑陵②③,釧路北陽)

※ 対象校の後ろの丸数字は対象学年を示す。(全学年が対象となる場合は無印)

回答者数：137名

| 質問内容 | 回答 | | | | | |
|---|-------|-------|-------|------|------|--|
| | ①、② | ③ | ④、⑤ | | | |
| ○ 多様なタイプの高校等での学習についてどのような点がよかったと思うか (①とてもよかった/②まあよかった/③どちらともいえない/④あまりよくなかった/⑤全くよくなかった) | | | | | | |
| 自分の興味・関心に応じて教科・科目が選択できること | 79.6% | 15.3% | 5.1% | | | |
| 自分の進路希望に応じて教科・科目が選択できること | 86.1% | 9.5% | 4.4% | | | |
| 幅広い分野にわたって多様な選択科目が開設されていること | 82.5% | 13.1% | 4.4% | | | |
| 進路や将来の生き方についてじっくり考えることができること | 80.3% | 13.9% | 5.8% | | | |
| 地域の社会人や職業人の生き方やものの見方、考え方などに触れる機会が多いこと | 62.8% | 27.0% | 10.2% | | | |
| 調査や研究、発表、職場体験など体験的な学習ができること | 66.4% | 22.6% | 10.9% | | | |
| 進学希望にも就職希望にも柔軟に対応できること | 80.3% | 13.9% | 5.8% | | | |
| 共通科目も職業科目も両方学ぶことができること | 71.5% | 24.1% | 4.4% | | | |
| いろいろな資格が取れること | 64.2% | 27.0% | 8.8% | | | |
| 選択科目の中に少人数で受ける授業があること | 63.5% | 29.9% | 6.6% | | | |
| ○ 「総合的な学習(探究)の時間」における進路学習やロングホームルームにおける進路ガイダンスなどは、どのような点で有意義だったり役に立ったりしているか (①とてもそう思う/②まあそう思う/③どちらともいえない/④あまりそう思わない/⑤全くそう思わない) | | | | | | |
| 自分がどういった分野の勉強に興味や関心があるのか明確になること | 79.6% | 11.7% | 8.8% | | | |
| 自分がどのような進路に進みたいのか明確になること | 82.5% | 8.8% | 8.8% | | | |
| 地域の社会人や職業人と話をしたり、学んだりする機会をもつことができること | 66.4% | 21.2% | 12.4% | | | |
| 自分の関心のある職業や仕事の内容について知ることができること | 81.8% | 11.7% | 6.6% | | | |
| 調査や研究、発表など、体験的な学習活動ができること | 70.1% | 20.4% | 9.5% | | | |
| 高校生活での目標や高校で自分がしたいことが明確になること | 77.4% | 13.9% | 8.8% | | | |
| ○ 高校入学時のことについて (①フィールド(科目群)を選択し学習できる/②専門的な分野の学習に触れることができる/③北海道独自のシステムである/④フィールドを選択するためのガイダンスが充実している/⑤いずれも知らなかった/⑥その他) | | | | | | |
| 高校を受検するとき、在籍している高校についてどのようなことを知っていたか(複数選択) | | | | | | |
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | |
| 91.2% | 21.2% | 2.2% | 16.1% | 4.4% | 1.5% | |

| 質問内容 | 回答 | | |
|---|-------|-------|-------|
| | ①、② | ③ | ④、⑤ |
| ○ 多様なタイプの高校への進学を決めた理由について (①とても当てはまる/②まあ当てはまる/③どちらともいえない/④あまり当てはまらない/⑤全く当てはまらない) | | | |
| 自分の成績に合った高校だったから | 85.4% | 6.6% | 8.0% |
| 学びたい科目を自分で選択できるから | 67.9% | 19.0% | 13.1% |
| さまざまな分野の科目を幅広く学べそうだったから | 62.0% | 24.1% | 13.9% |
| 進学に有利な勉強ができそうだったから | 57.7% | 26.3% | 16.1% |
| 就職に有利な勉強ができそうだったから | 48.9% | 27.7% | 23.4% |
| 高校入学後に、進学と就職のどちらでも選べると思ったから | 69.3% | 14.6% | 16.1% |
| 資格を取得することができそうだったから | 48.2% | 28.5% | 23.4% |
| 他の高校と比べて通学に便利な場所にあったから | 51.1% | 13.9% | 35.0% |
| 親や先生にすすめられたから | 45.3% | 23.4% | 31.4% |
| ○ 卒業後の進路に生かせるのはどのようなことだと思うか (①とても生かされている/②まあ生かされている/③どちらともいえない/④あまり生かされていない/⑤全く生かされていない) | | | |
| 専門科目で学んだ知識や技術 | 67.9% | 24.8% | 7.3% |
| 共通(必修)科目で学んだ知識や技術 | 69.3% | 21.9% | 8.8% |
| フィールド制共通選択科目で学んだ知識や技術 | 72.3% | 23.4% | 4.4% |
| 高校在学中に取得した資格 | 60.6% | 28.5% | 10.9% |
| 調査や研究、発表、職場体験など、体験的な学習で学んだプレゼンテーションや研究の方法 | 62.0% | 30.7% | 7.3% |
| ○ 多様なタイプの高校等に入学してよかったと思うか (①よかったと思う/②まあよかったと思う/③どちらともいえない/④あまりよかったと思わない/⑤よかったと思わない) | 80.3% | 14.6% | 5.1% |

2-1 総合学科保護者

対象校数：17校(美唄尚栄,札幌厚別,石狩翔陽,余市紅志,室蘭東翔,浦河,森,檜山北,旭川南,剣淵,留辺
薬,斜里,大空①,清水,池田,釧路明輝,標茶)
※ 対象校の後ろに記載の丸数字は対象学年を示す。(全学年が対象となる場合は無印)

回答者数：272名

| 質問内容 | 回答 | | | | | |
|---|-------|-------|-------|------|-------|------|
| | ①、② | ③ | ④、⑤ | | | |
| ○ 多様なタイプの学校に入学させてどのような点がよかったか (①とてもよかった/②まあよかった/③どちらともいえない/④あまりよくなかった/⑤全くよくなかった) | | | | | | |
| 子どもの興味・関心に応じて教科・科目が選択できること | 83.5% | 14.3% | 2.2% | | | |
| 子どもの進路希望に応じて教科・科目が選択できること | 85.7% | 12.1% | 2.2% | | | |
| 幅広い分野にわたって多様な選択科目が開設されていること | 87.1% | 11.4% | 1.5% | | | |
| 子どもが進路や将来の生き方についてじっくり考えることができること | 79.0% | 17.6% | 3.3% | | | |
| 地域の社会人や職業人の生き方やものの見方、考え方などに触れる機会が多いこと | 69.9% | 24.6% | 5.5% | | | |
| 調査や研究、発表、職場体験など体験的な学習ができること | 71.3% | 25.4% | 3.3% | | | |
| 進学希望にも就職希望にも柔軟に対応できること | 79.0% | 17.6% | 3.3% | | | |
| 共通科目も職業科目も両方学ぶことができること | 79.0% | 18.8% | 2.2% | | | |
| いろいろな資格が取れること | 69.9% | 27.2% | 2.9% | | | |
| 選択科目の中に少人数で受ける授業があること | 75.7% | 23.5% | 0.7% | | | |
| ○ 高校入学時のことについて (①興味・関心、進路希望等に応じて科目を選択できる/②科目選択の目安となる「系列」が設定されている/③自分の就きたい職業や自分の生き方について深く考えることができる/④学年による教育課程の区分がなく、3年以上在籍し、条件を満たした年度に卒業できる/⑤いずれも知らなかった/⑥その他) | | | | | | |
| 子どもが高校を受験するとき、保護者として現在お子様の在籍する多様なタイプの高校についてどの程度知っていたか | | | | | | |
| | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
| | 71.7% | 49.3% | 36.0% | 7.7% | 10.3% | 0.7% |
| ○ 多様なタイプの高校等に進学させた理由について (①とても当てはまる/②まあ当てはまる/③どちらともいえない/④あまり当てはまらない/⑤全く当てはまらない) | | | | | | |
| 子どもの成績に合った高校だったから | 82.0% | 9.6% | 8.5% | | | |
| 子どもが学びたい科目を自分で選択できるから | 71.7% | 22.8% | 5.5% | | | |
| 子どもがさまざまな分野の科目を幅広く学べそうだったから | 72.8% | 21.3% | 5.9% | | | |
| 子どもの進学に有利な勉強ができそうだったから | 62.1% | 29.4% | 8.5% | | | |
| 子どもの就職に有利な勉強ができそうだったから | 51.8% | 36.0% | 12.1% | | | |
| 高校入学後に、進学と就職のどちらでも選べると思ったから | 61.4% | 18.8% | 19.9% | | | |
| 資格を取得することができそうだったから | 56.6% | 28.3% | 15.1% | | | |
| 他の高校と比べて通学に便利な場所にあったから | 56.3% | 12.1% | 31.6% | | | |
| 子どもが希望したから | 89.3% | 8.1% | 2.6% | | | |
| ○ 多様なタイプの高校に進学させてよかったと思うか。 (①よかったと思う/②まあよかったと思う/③どちらともいえない/④あまりよかったと思わない/⑤よかったと思わない) | 83.1% | 12.5% | 4.4% | | | |

2-2 単位制保護者

対象校数：36校(岩見沢西,砂川,滝①,札幌手稲,札幌東陵,札幌白石,札幌英藍,札幌白陵,大麻,北広島,小樽桜陽,小樽未来創造,倶知安,岩内,室蘭清水丘,苫小牧南,伊達開来①,登別青嶺①,静内,函館西,市立函館,江差,旭川北,旭川西①,旭川永嶺,富良野,留萌,稚内,北見柏陽,網走南ヶ丘,遠軽,北見緑陵①,帯広三条,音更,釧路江南,根室)
 ※ 対象校の後ろに記載の丸数字は対象学年を示す。(全学年が対象となる場合は無印)

回答者数：1,437名

| 質問内容 | 回答 | | | | | |
|--|-------|-------|-------|------|-------|------|
| | ①、② | ③ | ④、⑤ | | | |
| ○ 多様なタイプの学校に入学させてどのような点がよかったか (①とてもよかった/②まあよかった/③どちらともいえない/④あまりよくなかった/⑤全くよくなかった) | | | | | | |
| 子どもの興味・関心に応じて教科・科目が選択できること | 73.3% | 24.2% | 2.5% | | | |
| 子どもの進路希望に応じて教科・科目が選択できること | 80.7% | 17.3% | 2.1% | | | |
| 幅広い分野にわたって多様な選択科目が開設されていること | 72.8% | 24.9% | 2.3% | | | |
| 子どもが進路や将来の生き方についてじっくり考えることができること | 67.9% | 27.0% | 5.1% | | | |
| 地域の社会人や職業人の生き方やものの見方、考え方などに触れる機会が多いこと | 48.6% | 43.8% | 7.5% | | | |
| 調査や研究、発表、職場体験など体験的な学習ができること | 50.8% | 39.9% | 9.3% | | | |
| 進学希望にも就職希望にも柔軟に対応できること | 64.5% | 29.7% | 5.8% | | | |
| 共通科目も職業科目も両方学ぶことができること | 55.7% | 39.0% | 5.3% | | | |
| いろいろな資格が取れること | 40.8% | 49.5% | 9.7% | | | |
| 選択科目の中に少人数で受ける授業があること | 59.9% | 36.3% | 3.8% | | | |
| ○ 高校入学時のことについて (①学年による教育課程の区分がなく、3年以上在籍し、条件を満たした年度に卒業できる/②進路希望等に応じて多様な選択科目が開設されている/③学習の実態等に応じたきめ細かな指導を行っている/④異なる入学年次の生徒と一緒に受ける授業がある/⑤いずれも知らなかった/⑥その他) | | | | | | |
| 子どもが高校を受験するとき、保護者として現在お子様の在籍する多様なタイプの高校についてどの程度知っていたか | | | | | | |
| | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
| | 16.4% | 63.0% | 15.9% | 3.3% | 26.4% | 0.8% |
| ○ 多様なタイプの高校等に進学させた理由について (①とても当てはまる/②まあ当てはまる/③どちらともいえない/④あまり当てはまらない/⑤全く当てはまらない) | | | | | | |
| 子どもの成績に合った高校だったから | 82.3% | 12.3% | 5.4% | | | |
| 子どもが学びたい科目を自分で選択できるから | 59.6% | 28.9% | 11.6% | | | |
| 子どもがさまざまな分野の科目を幅広く学べそうだったから | 50.7% | 37.9% | 11.4% | | | |
| 子どもの進学に有利な勉強ができそうだったから | 62.8% | 28.7% | 8.5% | | | |
| 子どもの就職に有利な勉強ができそうだったから | 35.4% | 43.6% | 21.1% | | | |
| 高校入学後に、進学と就職のどちらでも選べると思ったから | 45.7% | 29.4% | 24.9% | | | |
| 資格を取得することができそうだったから | 26.6% | 42.5% | 30.9% | | | |
| 他の高校と比べて通学に便利な場所にあったから | 52.3% | 12.0% | 35.6% | | | |
| 子どもが希望したから | 90.2% | 7.0% | 2.9% | | | |
| ○ 多様なタイプの高校に進学させてよかったと思うか。 (①よかったと思う/②まあよかったと思う/③どちらともいえない/④あまりよかったと思わない/⑤よかったと思わない) | 75.6% | 20.6% | 3.8% | | | |

対象校数：7校(札幌丘珠,札幌あすかせ,札幌平岡,野幌,千歳北陽,北見緑陵②③,釧路北陽)
 ※ 対象校の後ろに記載の丸数字は対象学年を示す。(全学年が対象となる場合は無印)

回答者数：99名

| 質問内容 | 回答 | | | | | |
|--|-------|-------|-------|------|-------|------|
| | ①、② | ③ | ④、⑤ | | | |
| ○ 多様なタイプの学校に入学させてどのような点がよかったか (①とてもよかった/②まあよかった/③どちらともいえない/④あまりよくなかった/⑤全くよくなかった) | | | | | | |
| 子どもの興味・関心に応じて教科・科目が選択できること | 76.8% | 19.2% | 4.0% | | | |
| 子どもの進路希望に応じて教科・科目が選択できること | 80.8% | 14.1% | 5.1% | | | |
| 幅広い分野にわたって多様な選択科目が開設されていること | 74.7% | 22.2% | 3.0% | | | |
| 子どもが進路や将来の生き方についてじっくり考えることができること | 66.7% | 29.3% | 4.0% | | | |
| 地域の社会人や職業人の生き方やものの見方、考え方などに触れる機会が多いこと | 61.6% | 29.3% | 9.1% | | | |
| 調査や研究、発表、職場体験など体験的な学習ができること | 60.6% | 30.3% | 9.1% | | | |
| 進学希望にも就職希望にも柔軟に対応できること | 72.7% | 22.2% | 5.1% | | | |
| 共通科目も職業科目も両方学ぶことができること | 72.7% | 24.2% | 3.0% | | | |
| いろいろな資格が取れること | 49.5% | 45.5% | 5.1% | | | |
| 選択科目の中に少人数で受ける授業があること | 63.6% | 34.3% | 2.0% | | | |
| ○ 高校入学時のことについて (①フィールド(科目群)を選択し学習できる/②専門的な分野の学習に触れることができる/③北海道独自のシステムである/④フィールドを選択するためのガイダンスが充実している/⑤いずれも知らなかった/⑥その他) | | | | | | |
| 子どもが高校を受験するとき、保護者として現在お子様の在籍する多様なタイプの高校についてどの程度知っていたか | | | | | | |
| | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
| | 77.8% | 22.2% | 6.1% | 6.1% | 16.2% | 3.0% |
| ○ 多様なタイプの高校等に進学させた理由について (①とても当てはまる/②まあ当てはまる/③どちらともいえない/④あまり当てはまらない/⑤全く当てはまらない) | | | | | | |
| 子どもの成績に合った高校だったから | 79.8% | 12.1% | 8.1% | | | |
| 子どもが学びたい科目を自分で選択できるから | 60.6% | 29.3% | 10.1% | | | |
| 子どもがさまざまな分野の科目を幅広く学べそうだったから | 53.5% | 32.3% | 14.1% | | | |
| 子どもの進学に有利な勉強ができそうだったから | 47.5% | 34.3% | 18.2% | | | |
| 子どもの就職に有利な勉強ができそうだったから | 42.4% | 42.4% | 15.2% | | | |
| 高校入学後に、進学と就職のどちらでも選べると思ったから | 66.7% | 17.2% | 16.2% | | | |
| 資格を取得することができそうだったから | 38.4% | 39.4% | 22.2% | | | |
| 他の高校と比べて通学に便利な場所にあったから | 55.6% | 13.1% | 31.3% | | | |
| 子どもが希望したから | 87.9% | 7.1% | 5.1% | | | |
| ○ 多様なタイプの高校に進学させてよかったと思うか。 (①よかったと思う/②まあよかったと思う/③どちらともいえない/④あまりよかったと思わない/⑤よかったと思わない) | 71.7% | 25.3% | 3.0% | | | |

3-1 中等教育学校生徒

対象校数：1校
回答者数：64名

| 質問内容 | 回答 | | | | |
|--|-------|-------|-------|------|------|
| | ①、② | ③ | ④、⑤ | | |
| ○ 中高一貫教育行っている学校で学んで、どのような点がよかったか。(①とてもよかった/②まあよかった/③どちらともいえない/④あまりよくなかった/⑤全くよくなかった) | | | | | |
| 高校受験の時に、学力検査がないため、ゆとりある中学校生活を送れたこと | 84.4% | 15.6% | 0.0% | | |
| 個性や能力を伸ばせること | 84.4% | 14.1% | 1.6% | | |
| 学校行事などで中学生(前期課程の生徒)と高校生(後期課程の生徒)の交流があること | 89.1% | 9.4% | 1.6% | | |
| 中学生(前期課程の生徒)と高校生(後期課程の生徒)がともに学ぶ活動があること | 85.9% | 7.8% | 6.3% | | |
| 国際理解教育や特色ある外国語教育を受けることができること | 84.4% | 12.5% | 3.1% | | |
| 特色ある「総合的な学習(探究)の時間」があること | 68.8% | 20.3% | 10.9% | | |
| 他校では高校生で学習する内容を3年次で学習できること | 81.3% | 17.2% | 1.6% | | |
| 進路や将来の生き方についてじっくり考えることができること | 79.7% | 18.8% | 1.6% | | |
| 地域の社会人や職業人の生き方やものの見方、考え方などに触れる機会が多いこと | 89.1% | 10.9% | 0.0% | | |
| 調査や研究、発表、職場体験など体験的な学習ができること | 89.1% | 9.4% | 1.6% | | |
| 進学希望にも就職希望にも柔軟に対応できること | 79.7% | 18.8% | 1.6% | | |
| 少人数や習熟度別で受ける授業があること | 84.4% | 10.9% | 4.7% | | |
| 6年間、同じの仲間と学ぶことができること | 71.9% | 21.9% | 6.3% | | |
| 中学生(前期課程)の時から高校(後期課程)の先生に習っていたので高校生活をスムーズにスタートさせることができたこと | 84.4% | 14.1% | 1.6% | | |
| ○ 「総合的な学習(探究)の時間」における進路学習やロングホームルームにおける進路ガイダンスなどは、どのような点で有意義だったり役に立ったりしているか(①とてもそう思う/②まあそう思う/③どちらともいえない/④あまりそう思わない/⑤全くそう思わない) | | | | | |
| 自分がどういった分野の勉強に興味や関心があるのか明確になること | 76.6% | 17.2% | 6.3% | | |
| 自分がどのような進路に進みたいのか明確になること | 75.0% | 15.6% | 9.4% | | |
| 地域の社会人や職業人と話をしたり、学んだりする機会をもつことができること | 82.8% | 14.1% | 3.1% | | |
| 自分の関心のある職業や仕事の内容について知ることができること | 81.3% | 12.5% | 6.3% | | |
| 調査や研究、発表など、体験的な学習活動ができること | 81.3% | 15.6% | 3.1% | | |
| 学校生活での目標や高校(後期課程)で自分がしたいことが明確になること | 73.4% | 21.9% | 4.7% | | |
| ○ 高校入学時のことについて(①高校入試の影響を受けずゆとりある学校生活を送ることができる/②6年間の計画的、継続的な教育を受けられる/③他の中学校からの受験が不可であること/④国際理解教育と外国語教育を重視していること/⑤いずれも知らなかった/⑥その他) | | | | | |
| 受検するとき、中高一貫教育校についてどのようなことを知っていたか | | | | | |
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
| 82.8% | 60.9% | 34.4% | 78.1% | 3.1% | 0.0% |

| 質問内容 | 回答 | | |
|---|-------|-------|-------|
| | ①、② | ③ | ④、⑤ |
| ○ 中高一貫教育校への進学を決めた理由について (①とても当てはまる/②まあ当てはまる/③どちらともいえない/④あまり当てはまらない/⑤全く当てはまらない) | | | |
| 自分の成績(適性)に合った高校だったから | 35.9% | 32.8% | 31.3% |
| 6年間ゆとりを持って勉強できると思ったから | 64.1% | 15.6% | 20.3% |
| 高校受検の時(後期課程に進む際)に、学力検査がないから | 75.0% | 12.5% | 12.5% |
| 英語を重点的に勉強できそうだから | 64.1% | 18.8% | 17.2% |
| 学びたい分野の勉強ができそうだったから | 45.3% | 32.8% | 21.9% |
| やりたい部活動ができそうだったから | 40.6% | 12.5% | 46.9% |
| 進学に有利な勉強ができそうだったから | 70.3% | 17.2% | 12.5% |
| 就職に有利な勉強ができそうだったから | 35.9% | 29.7% | 34.4% |
| 入学後に、進学と就職のどちらでも選べると思ったから | 23.4% | 21.9% | 54.7% |
| 資格を取得することができそうだったから | 50.0% | 15.6% | 34.4% |
| 他の高校と比べて通学に便利な場所にあったから | 29.7% | 21.9% | 48.4% |
| 親や先生にすすめられたから | 67.2% | 15.6% | 17.2% |
| ○ 卒業後の進路に生かせるのはどのようなことだと思うか (①とても生かされている/②まあ生かされている/③どちらともいえない/④あまり生かされていない/⑤全く生かされていない) | | | |
| 専門科目で学んだ知識や技術 | 48.4% | 39.1% | 12.5% |
| 共通科目のうち、必修科目で学んだ知識や技術 | 68.8% | 23.4% | 7.8% |
| 共通科目のうち、さまざまな選択科目で学んだ知識や技術 | 70.3% | 23.4% | 6.3% |
| 在学中に取得した資格 | 75.0% | 20.3% | 4.7% |
| 調査や研究、発表、職場体験など、体験的な学習で学んだプレゼンテーションや研究の方法 | 82.8% | 15.6% | 1.6% |
| ○ 中高一貫教育校に入学してよかったと思うか (①よかったと思う/②まあよかったと思う/③どちらともいえない/④あまりよかったと思わない/⑤よかったと思わない) | 81.3% | 9.4% | 9.4% |

3-2 中高一貫教育学校生徒

対象校数：8校(鷗川,えりも,奥尻,上川,湧別,鹿追,広尾,羅臼)
 回答者数：107名

| 質問内容 | 回答 | | | | | |
|---|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| | ①、② | ③ | ④、⑤ | | | |
| ○ 中高一貫教育行っている学校で学んで、どのような点がよかったか。 (①とてもよかった/②まあよかった/③どちらともいえない/④あまりよくなかった/⑤全くよくなかった) | | | | | | |
| ☆高校受験の時に、学力検査がないため、ゆとりある中学校生活を送れたこと | 75.0% | 20.6% | 4.4% | | | |
| 個性や能力を伸ばせること | 75.7% | 20.6% | 3.7% | | | |
| 学校行事などで中学生(前期課程の生徒)と高校生(後期課程の生徒)の交流があること | 57.9% | 34.6% | 7.5% | | | |
| 中学生(前期課程の生徒)と高校生(後期課程の生徒)がともに学ぶ活動があること | 57.0% | 37.4% | 5.6% | | | |
| 特色ある「総合的な学習(探究)の時間」があること | 69.2% | 23.4% | 7.5% | | | |
| 進路や将来の生き方についてじっくり考えることができること | 78.5% | 19.6% | 1.9% | | | |
| 地域の社会人や職業人の生き方やものの見方、考え方などに触れる機会が多いこと | 79.4% | 17.8% | 2.8% | | | |
| 調査や研究、発表、職場体験など体験的な学習ができること | 81.3% | 15.9% | 2.8% | | | |
| 進学希望にも就職希望にも柔軟に対応できること | 78.5% | 18.7% | 2.8% | | | |
| 少人数や習熟度別で受ける授業があること | 81.3% | 15.9% | 2.8% | | | |
| ☆6年間を通じて、多くの仲間と学ぶことができること | 85.3% | 13.2% | 1.5% | | | |
| ☆中学生(前期課程)の時から高校(後期課程)の先生に習っていたので高校生活をスムーズにスタートさせることができたこと | 47.1% | 47.1% | 5.9% | | | |
| ○ 「総合的な学習(探究)の時間」における進路学習やロングホームルームにおける進路ガイダンスなどは、どのような点で有意義だったり役に立ったりしているか (①とてもそう思う/②まあそう思う/③どちらともいえない/④あまりそう思わない/⑤全くそう思わない) | | | | | | |
| 自分がどういった分野の勉強に興味や関心があるのか明確になること | 77.6% | 17.8% | 4.7% | | | |
| 自分がどのような進路に進みたいのか明確になること | 82.2% | 14.0% | 3.7% | | | |
| 地域の社会人や職業人と話をしたり、学んだりする機会をもつことができること | 81.3% | 16.8% | 1.9% | | | |
| 自分の関心のある職業や仕事の内容について知ることができること | 85.0% | 12.1% | 2.8% | | | |
| 調査や研究、発表など、体験的な学習活動ができること | 81.3% | 15.0% | 3.7% | | | |
| 学校生活での目標や高校(後期課程)で自分がしたいことが明確になること | 76.6% | 17.8% | 5.6% | | | |
| ○ 高校入学時のことについて (①高校入試の影響を受けずゆとりある学校生活を送ることができる/②中学校と連携した教育活動がある/③他の高校の受験も可能である/④他の中学校卒業生も入学することができる/⑤いずれも知らなかった/⑥その他) | | | | | | |
| 受検するとき、中高一貫教育校についてどのようなことを知っていたか | | | | | | |
| | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
| | 48.6% | 48.6% | 31.8% | 38.3% | 16.8% | 0.0% |

| 質問内容 | 回答 | | |
|---|-------|-------|-------|
| | ①、② | ③ | ④、⑤ |
| ○ 中高一貫教育校への進学を決めた理由について (①とても当てはまる/②まあ当てはまる/③どちらともいえない/④あまり当てはまらない/⑤全く当てはまらない) | | | |
| ☆連携型での学習を継続したいと考えたから | 39.7% | 30.9% | 29.4% |
| 自分の成績(適性)に合った高校だったから | 65.4% | 15.9% | 18.7% |
| ☆高校受検の時(後期課程に進む際)に、学力検査がないから | 58.8% | 20.6% | 20.6% |
| 学びたい分野の勉強ができそうだったから | 47.7% | 26.2% | 26.2% |
| やりたい部活動ができそうだったから | 64.5% | 17.8% | 17.8% |
| 進学に有利な勉強ができそうだったから | 45.8% | 29.9% | 24.3% |
| 就職に有利な勉強ができそうだったから | 50.5% | 27.1% | 22.4% |
| 入学後に、進学と就職のどちらでも選べると思ったから | 66.4% | 16.8% | 16.8% |
| 資格を取得することができそうだったから | 74.8% | 11.2% | 14.0% |
| 他の高校と比べて通学に便利な場所にあったから | 68.2% | 14.0% | 17.8% |
| 親や先生にすすめられたから | 57.9% | 17.8% | 24.3% |
| ★中高一貫教育校に高校から入学することについて、不安はなかったか。 (①全く不安はなかった/②少し不安はあった/③不安であった) | ① | ② | ③ |
| | 74.4% | 15.4% | 10.3% |
| ○ 卒業後の進路に生かせるのはどのようなことだと思うか (①とても生かされている/②まあ生かされている/③どちらともいえない/④あまり生かされていない/⑤全く生かされていない) | | | |
| 専門科目で学んだ知識や技術 | 58.9% | 33.6% | 7.5% |
| 共通科目のうち、必修科目で学んだ知識や技術 | 62.6% | 29.0% | 8.4% |
| 共通科目のうち、さまざまな選択科目で学んだ知識や技術 | 63.6% | 28.0% | 8.4% |
| 在学中に取得した資格 | 68.2% | 25.2% | 6.5% |
| 調査や研究、発表、職場体験など、体験的な学習で学んだプレゼンテーションや研究の方法 | 76.6% | 19.6% | 3.7% |
| ○ 中高一貫教育校に入学してよかったと思うか (①よかったと思う/②まあよかったと思う/③どちらともいえない/④あまりよかったと思わない/⑤よかったと思わない) | | | |
| | 80.4% | 15.9% | 3.7% |

※ ☆連携中から進学した生徒のみ回答、★連携中以外から進学した生徒のみ回答

3-3 中高一貫教育学校 連携中から進学した生徒

対象校数：8校（鷗川,えりも,奥尻,上川,湧別,鹿追,広尾,羅臼）
 回答者数：68名

| 質問内容 | 回答 | | | | | |
|---|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| | ①、② | ③ | ④、⑤ | | | |
| ○ 中高一貫教育行っている学校で学んで、どのような点がよかったか。 (①とてもよかった/②まあよかった/③どちらともいえない/④あまりよくなかった/⑤全くよくなかった) | | | | | | |
| 高校受験の時に、学力検査がないため、ゆとりある中学校生活を送れたこと | 75.0% | 20.6% | 4.4% | | | |
| 個性や能力を伸ばせること | 79.4% | 16.2% | 4.4% | | | |
| 学校行事などで中学生(前期課程の生徒)と高校生(後期課程の生徒)の交流があること | 58.8% | 32.4% | 8.8% | | | |
| 中学生(前期課程の生徒)と高校生(後期課程の生徒)がともに学ぶ活動があること | 60.3% | 35.3% | 4.4% | | | |
| 特色ある「総合的な学習(探究)の時間」があること | 67.6% | 25.0% | 7.4% | | | |
| 進路や将来の生き方についてじっくり考えることができること | 82.4% | 16.2% | 1.5% | | | |
| 地域の社会人や職業人の生き方やものの見方、考え方などに触れる機会が多いこと | 82.4% | 16.2% | 1.5% | | | |
| 調査や研究、発表、職場体験など体験的な学習ができること | 85.3% | 13.2% | 1.5% | | | |
| 進学希望にも就職希望にも柔軟に対応できること | 82.4% | 14.7% | 2.9% | | | |
| 少人数や習熟度別で受ける授業があること | 85.3% | 11.8% | 2.9% | | | |
| 6年間を通じて、多くの仲間と学ぶことができること | 85.3% | 13.2% | 1.5% | | | |
| 中学生(前期課程)の時から高校(後期課程)の先生に習っていたので高校生活をスムーズにスタートさせることができたこと | 47.1% | 47.1% | 5.9% | | | |
| ○ 「総合的な学習(探究)の時間」における進路学習やロングホームルームにおける進路ガイダンスなどは、どのような点で有意義だったり役に立ったりしているか (①とてもそう思う/②まあそう思う/③どちらともいえない/④あまりそう思わない/⑤全くそう思わない) | | | | | | |
| 自分がどういった分野の勉強に興味や関心があるのか明確になること | 76.5% | 20.6% | 2.9% | | | |
| 自分がどのような進路に進みたいのか明確になること | 80.9% | 16.2% | 2.9% | | | |
| 地域の社会人や職業人と話をしたり、学んだりする機会をもつことができること | 83.8% | 16.2% | 0.0% | | | |
| 自分の関心のある職業や仕事の内容について知ることができること | 85.3% | 11.8% | 2.9% | | | |
| 調査や研究、発表など、体験的な学習活動ができること | 82.4% | 16.2% | 1.5% | | | |
| 学校生活での目標や高校(後期課程)で自分がしたいことが明確になること | 76.5% | 19.1% | 4.4% | | | |
| ○ 高校入学時のことについて (①高校入試の影響を受けずゆとりある学校生活を送ることができる/②中学校と連携した教育活動がある/③他の高校の受験も可能である/④他の中学校卒業者も入学することができる/⑤いずれも知らなかった/⑥その他) | | | | | | |
| 受検するとき、中高一貫教育校についてどのようなことを知っていたか | | | | | | |
| | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
| | 61.8% | 58.8% | 36.8% | 36.8% | 10.3% | 0.0% |

| 質問内容 | 回答 | | |
|---|-------|-------|-------|
| | ①、② | ③ | ④、⑤ |
| ○ 中高一貫教育校への進学を決めた理由について (①とても当てはまる/②まあ当てはまる/③どちらともいえない/④あまり当てはまらない/⑤全く当てはまらない) | | | |
| 携帯型での学習を継続したいと考えたから | 39.7% | 30.9% | 29.4% |
| 自分の成績(適性)に合った高校だったから | 66.2% | 14.7% | 19.1% |
| 高校受検の時(後期課程に進む際)に、学力検査がないから | 58.8% | 20.6% | 20.6% |
| 学びたい分野の勉強ができそうだったから | 42.6% | 26.5% | 30.9% |
| やりたい部活動ができそうだったから | 57.4% | 20.6% | 22.1% |
| 進学に有利な勉強ができそうだったから | 45.6% | 30.9% | 23.5% |
| 就職に有利な勉強ができそうだったから | 48.5% | 27.9% | 23.5% |
| 入学後に、進学と就職のどちらでも選べると思ったから | 66.2% | 17.6% | 16.2% |
| 資格を取得することができそうだったから | 77.9% | 10.3% | 11.8% |
| 他の高校と比べて通学に便利な場所にあったから | 82.4% | 10.3% | 7.4% |
| 親や先生にすすめられたから | 52.9% | 22.1% | 25.0% |
| ○ 卒業後の進路に生かせるのはどのようなことだと思うか (①とても生かされている/②まあ生かされている/③どちらともいえない/④あまり生かされていない/⑤全く生かされていない) | | | |
| 専門科目で学んだ知識や技術 | 54.4% | 36.8% | 8.8% |
| 共通科目のうち、必修科目で学んだ知識や技術 | 60.3% | 32.4% | 7.4% |
| 共通科目のうち、さまざまな選択科目で学んだ知識や技術 | 60.3% | 32.4% | 7.4% |
| 在学中に取得した資格 | 67.6% | 26.5% | 5.9% |
| 調査や研究、発表、職場体験など、体験的な学習で学んだプレゼンテーションや研究の方法 | 77.9% | 19.1% | 2.9% |
| ○ 中高一貫教育校に入学してよかったと思うか (①よかったと思う/②まあよかったと思う/③どちらともいえない/④あまりよかったと思わない/⑤よかったと思わない) | 80.9% | 16.2% | 2.9% |

対象校数：8校（鷗川,えりも,奥尻,上川,湧別,鹿追,広尾,羅臼）

回答者数：回答者数39名

| 質問内容 | 回答 | | | | | |
|---|-------|-------|-------|-------|------|--|
| | ①、② | ③ | ④、⑤ | | | |
| ○ 中高一貫教育行っている学校で学んで、どのような点がよかったか。 (①とてもよかった/②まあよかった/③どちらともいえない/④あまりよくなかった/⑤全くよくなかった) | | | | | | |
| 個性や能力を伸ばせること | 69.2% | 28.2% | 2.6% | | | |
| 学校行事などで中学生(前期課程の生徒)と高校生(後期課程の生徒)の交流があること | 56.4% | 38.5% | 5.1% | | | |
| 中学生(前期課程の生徒)と高校生(後期課程の生徒)がともに学ぶ活動があること | 51.3% | 41.0% | 7.7% | | | |
| 特色ある「総合的な学習(探究)の時間」があること | 71.8% | 20.5% | 7.7% | | | |
| 進路や将来の生き方についてじっくり考えることができること | 71.8% | 25.6% | 2.6% | | | |
| 地域の社会人や職業人の生き方やものの見方、考え方などに触れる機会が多いこと | 74.4% | 20.5% | 5.1% | | | |
| 調査や研究、発表、職場体験など体験的な学習ができること | 74.4% | 20.5% | 5.1% | | | |
| 進学希望にも就職希望にも柔軟に対応できること | 71.8% | 25.6% | 2.6% | | | |
| 少人数や習熟度別で受ける授業があること | 74.4% | 23.1% | 2.6% | | | |
| ○ 「総合的な学習(探究)の時間」における進路学習やロングホームルームにおける進路ガイダンスなどは、どのような点で有意義だったり役に立ったりしているか (①とてもそう思う/②まあそう思う/③どちらともいえない/④あまりそう思わない/⑤全くそう思わない) | | | | | | |
| 自分がどういった分野の勉強に興味や関心があるのか明確になること | 79.5% | 12.8% | 7.7% | | | |
| 自分がどのような進路に進みたいのか明確になること | 84.6% | 10.3% | 5.1% | | | |
| 地域の社会人や職業人と話をしたり、学んだりする機会をもつことができること | 76.9% | 17.9% | 5.1% | | | |
| 自分の関心のある職業や仕事の内容について知ることができること | 84.6% | 12.8% | 2.6% | | | |
| 調査や研究、発表など、体験的な学習活動ができること | 79.5% | 12.8% | 7.7% | | | |
| 学校生活での目標や高校(後期課程)で自分がしたいことが明確になること | 76.9% | 15.4% | 7.7% | | | |
| ○ 高校入学時のことについて (①高校入試の影響を受けずゆとりある学校生活を送ることができる/②中学校と連携した教育活動がある/③他の高校の受検も可能である/④他の中学校卒業生も入学することができる/⑤いずれも知らなかった/⑥その他) | | | | | | |
| 受検するとき、中高一貫教育校についてどのようなことを知っていたか | | | | | | |
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | |
| 25.6% | 30.8% | 23.1% | 41.0% | 28.2% | 0.0% | |

| 質問内容 | 回答 | | |
|---|-------|-------|-------|
| | ①、② | ③ | ④、⑤ |
| ○ 中高一貫教育校への進学を決めた理由について (①とても当てはまる/②まあ当てはまる/③どちらともいえない/④あまり当てはまらない/⑤全く当てはまらない) | | | |
| 自分の成績(適性)に合った高校だったから | 64.1% | 17.9% | 17.9% |
| 学びたい分野の勉強ができそうだったから | 56.4% | 25.6% | 17.9% |
| やりたい部活動ができそうだったから | 76.9% | 12.8% | 10.3% |
| 進学に有利な勉強ができそうだったから | 46.2% | 28.2% | 25.6% |
| 就職に有利な勉強ができそうだったから | 53.8% | 25.6% | 20.5% |
| 入学後に、進学と就職のどちらでも選べると思ったから | 66.7% | 15.4% | 17.9% |
| 資格を取得することができそうだったから | 69.2% | 12.8% | 17.9% |
| 他の高校と比べて通学に便利な場所にあったから | 43.6% | 20.5% | 35.9% |
| 親や先生にすすめられたから | 66.7% | 10.3% | 23.1% |
| 中高一貫教育校に高校から入学することについて、不安はなかったか。 (①全く不安はなかった/②少し不安はあった/③不安であった) | ① | ② | ③ |
| | 89.7% | 10.3% | 0.0% |
| ○ 卒業後の進路に生かせるのはどのようなことだと思うか (①とても生かされている/②まあ生かされている/③どちらともいえない/④あまり生かされていない/⑤全く生かされていない) | | | |
| 専門科目で学んだ知識や技術 | 66.7% | 28.2% | 5.1% |
| 共通科目のうち、必修科目で学んだ知識や技術 | 66.7% | 23.1% | 10.3% |
| 共通科目のうち、さまざまな選択科目で学んだ知識や技術 | 69.2% | 20.5% | 10.3% |
| 在学中に取得した資格 | 69.2% | 23.1% | 7.7% |
| 調査や研究、発表、職場体験など、体験的な学習で学んだプレゼンテーションや研究の方法 | 74.4% | 20.5% | 5.1% |
| ○ 中高一貫教育校に入学してよかったと思うか (①よかったと思う/②まあよかったと思う/③どちらともいえない/④あまりよかったと思わない/⑤よかったと思わない) | 79.5% | 15.4% | 5.1% |

4-1 中等教育学校保護者

対象校数：1校(登別明日)
回答者数：54名

| 質問内容 | 回答 | | | | | |
|---|-------|-------|-------|-------|------|------|
| | ①、② | ③ | ④、⑤ | | | |
| ○ 中高一貫教育を行っている学校に入学させてどのような点がよかったか (①とてもよかった/②まあよかった/③どちらともいえない/④あまりよくなかった/⑤全くよくなかった) | | | | | | |
| 高校受検がなく、ゆとりのある中学校生活を送れたこと | 79.6% | 18.5% | 1.9% | | | |
| 子どもの個性や能力を伸ばせること | 77.8% | 20.4% | 1.9% | | | |
| 学校行事などで中学生(前期課程の生徒)と高校生(後期課程の生徒)の交流があること | 96.3% | 3.7% | 0.0% | | | |
| 中学生(前期課程の生徒)と高校生(後期課程の生徒)がともに学ぶ活動があること | 96.3% | 3.7% | 0.0% | | | |
| 国際理解教育や特色ある外国語教育を受けることができること | 87.0% | 13.0% | 0.0% | | | |
| 特色ある「総合的な学習(探究)の時間」があること | 88.9% | 7.4% | 3.7% | | | |
| 他校では高校生で学習する内容を3年次で学習できること | 88.9% | 11.1% | 0.0% | | | |
| 進路や将来の生き方についてじっくり考えることができること | 85.2% | 13.0% | 1.9% | | | |
| 地域の社会人や職業人の生き方やものの見方、考え方などに触れる機会が多いこと | 77.8% | 20.4% | 1.9% | | | |
| 調査や研究、発表、職場体験など体験的な学習ができること | 81.5% | 14.8% | 3.7% | | | |
| 進学希望にも就職希望にも柔軟に対応できること | 70.4% | 24.1% | 5.6% | | | |
| 少人数や習熟度別で受ける授業があること | 83.3% | 16.7% | 0.0% | | | |
| 6年間、同じ仲間と学ぶことができること | 72.2% | 22.2% | 5.6% | | | |
| ○ 入学時ことについて (①高校入試の影響を受けずゆとりある学校生活を送ることができる/②6年間の計画的、継続的な教育を受けられる/③他の中学校からの受検が不可であること/④国際理解教育と外国語教育を重視していること/⑤いずれも知らなかった/⑥その他) | | | | | | |
| 受検するとき、保護者として中高一貫教育校についてどの程度知っていたか | | | | | | |
| | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
| | 70.4% | 92.6% | 33.3% | 63.0% | 1.9% | 0.0% |
| ○ 子どもを中高一貫教育校に進学させた理由について (①とても当てはまる/②まあ当てはまる/③どちらともいえない/④あまり当てはまらない/⑤全く当てはまらない) | | | | | | |
| 子どもの成績(適性)に合った学校だったから | 74.1% | 20.4% | 5.6% | | | |
| 6年間ゆとりをもって勉強できると思ったから | 79.6% | 16.7% | 3.7% | | | |
| 高校受検の時(後期課程に進む際)に、学力検査がないから | 50.0% | 13.0% | 37.0% | | | |
| 英語を重点的に勉強できそうだから | 77.8% | 13.0% | 9.3% | | | |

| 質問内容 | | 回答 | | |
|------|--|-------|-------|-------|
| | | ①、② | ③ | ④、⑤ |
| | 子どもが学びたい分野の勉強ができそうだったから | 66.7% | 24.1% | 9.3% |
| | 子どものやりたい部活動ができそうだったから | 38.9% | 24.1% | 37.0% |
| | 子どもの進学に有利な勉強ができそうだったから | 68.5% | 24.1% | 7.4% |
| | 子どもの就職に有利な勉強ができそうだったから | 35.2% | 33.3% | 31.5% |
| | 入学後に、進学と就職のどちらでも選べると思ったから | 24.1% | 24.1% | 51.9% |
| | 資格を取得することができそうだったから | 40.7% | 24.1% | 35.2% |
| | 他の学校と比べて通学に便利な場所にあったから | 24.1% | 20.4% | 55.6% |
| | 子どもが希望したから | 81.5% | 14.8% | 3.7% |
| ○ | 中高一貫教育校に進学させてよかったと思うか (①よかったと思う/②まあよかったと思う/③どちらともいえない/④あまりよかったと思わない/⑤よかったと思わない) | 79.6% | 18.5% | 1.9% |

対象校数：8校（鷗川,えりも,奥尻,上川,湧別,鹿追,広尾,羅臼）

回答者数：41名

| 質問内容 | 回答 | | | | | |
|---|-------|-------|-------|-------|------|------|
| | ①、② | ③ | ④、⑤ | | | |
| ○ 中高一貫教育を行っている学校に入学させてどのような点がよかったか (①とてもよかった/②まあよかった/③どちらともいえない/④あまりよくなかった/⑤全くよくなかった) | | | | | | |
| ☆高校受検の時に、学力検査がないため、ゆとりある中学校生活を送れたこと | 57.1% | 35.7% | 7.1% | | | |
| 子どもの個性や能力を伸ばせること | 70.7% | 26.8% | 2.4% | | | |
| 学校行事などで中学生(前期課程の生徒)と高校生(後期課程の生徒)の交流があること | 78.0% | 19.5% | 2.4% | | | |
| 中学生(前期課程の生徒)と高校生(後期課程の生徒)がともに学ぶ活動があること | 75.6% | 22.0% | 2.4% | | | |
| 特色ある「総合的な学習(探究)の時間」があること | 80.5% | 19.5% | 0.0% | | | |
| 進路や将来の生き方についてじっくり考えることができること | 80.5% | 19.5% | 0.0% | | | |
| 地域の社会人や職業人の生き方やものの見方、考え方などに触れる機会が多いこと | 87.8% | 12.2% | 0.0% | | | |
| 調査や研究、発表、職場体験など体験的な学習ができること | 87.8% | 12.2% | 0.0% | | | |
| 進学希望にも就職希望にも柔軟に対応できること | 87.8% | 12.2% | 0.0% | | | |
| 少人数や習熟度別で受ける授業があること | 92.7% | 7.3% | 0.0% | | | |
| ☆6年間を通じて、多くの仲間と学ぶことができること | 71.4% | 25.0% | 3.6% | | | |
| ☆中学生の時から高校の先生に習っていたので高校生活をスムーズにスタートさせることができたこと | 67.9% | 32.1% | 0.0% | | | |
| ○ 入学時ことについて (①高校入試の影響を受けずゆとりある学校生活を送ることができる/②中学校と連携した教育活動がある/③他の高校の受検も可能である/④他の中学校卒業者も入学することができる/⑤いずれも知らなかった/⑥その他) | | | | | | |
| 子どもが受検するとき、保護者として中高一貫教育校についてどのようなことを知っていたか | | | | | | |
| | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
| | 58.5% | 48.8% | 48.8% | 39.0% | 0.0% | 0.0% |
| ○ 子どもを中高一貫教育校に進学させた理由について (①とても当てはまる/②まあ当てはまる/③どちらともいえない/④あまり当てはまらない/⑤全く当てはまらない) | | | | | | |
| ☆連携型での学習を継続させたいと考えたから | 35.7% | 46.4% | 17.9% | | | |
| 子どもの成績(適性)に合った学校だったから | 46.3% | 36.6% | 17.1% | | | |
| ☆高校受検の時(後期課程に進む際)に、学力検査がないから | 39.3% | 39.3% | 21.4% | | | |
| 子どもが学びたい分野の勉強ができそうだったから | 39.0% | 51.2% | 9.8% | | | |
| 子どものやりたい部活動ができそうだったから | 34.1% | 34.1% | 31.7% | | | |

| 質問内容 | | 回答 | | |
|------|--|-------|-------|-------|
| | | ①、② | ③ | ④、⑤ |
| | 子どもの進学に有利な勉強ができそうだったから | 43.9% | 36.6% | 19.5% |
| | 子どもの就職に有利な勉強ができそうだったから | 39.0% | 48.8% | 12.2% |
| | 入学後に、進学と就職のどちらでも選べると思ったから | 51.2% | 39.0% | 9.8% |
| | 資格を取得することができそうだったから | 58.5% | 29.3% | 12.2% |
| | 他の学校と比べて通学に便利な場所にあったから | 68.3% | 17.1% | 14.6% |
| | 子どもが希望したから | 82.9% | 14.6% | 2.4% |
| | ★中高一貫教育校に高校から入学することについて、不安はなかったか (①全く不安はなかった/②少し不安はあった/③不安であった) | ① | ② | ③ |
| | | 76.9% | 15.4% | 7.7% |
| ○ | 中高一貫教育校に進学させてよかったと思うか (①よかったと思う/②まあよかったと思う/③どちらともいえない/④あまり よかったと思わない/⑤よかったと思わない) | 70.7% | 26.8% | 2.4% |

※ ☆連携中から進学した生徒の保護者のみ回答、★連携中以外から進学した生徒の保護者のみ回答

4-3

中高一貫教育校 連携中から進学した生徒の保護者

対象校数：8校（鷗川,えりも,奥尻,上川,湧別,鹿追,広尾,羅臼）

回答者数：28名

| 質問内容 | 回答 | | | | | |
|---|-------|-------|-------|-------|------|------|
| | ①、② | ③ | ④、⑤ | | | |
| ○ 中高一貫教育を行っている学校に入学させてどのような点がよかったか (①とてもよかった/②まあよかった/③どちらともいえない/④あまりよくなかった/⑤全くよくなかった) | | | | | | |
| 高校受検の時に、学力検査がないため、ゆとりある中学校生活を送れたこと | 57.1% | 35.7% | 7.1% | | | |
| 子どもの個性や能力を伸ばせること | 67.9% | 28.6% | 3.6% | | | |
| 学校行事などで中学生(前期課程の生徒)と高校生(後期課程の生徒)の交流があること | 82.1% | 14.3% | 3.6% | | | |
| 中学生(前期課程の生徒)と高校生(後期課程の生徒)がともに学ぶ活動があること | 78.6% | 17.9% | 3.6% | | | |
| 特色ある「総合的な学習(探究)の時間」があること | 78.6% | 21.4% | 0.0% | | | |
| 進路や将来の生き方についてじっくり考えることができること | 75.0% | 25.0% | 0.0% | | | |
| 地域の社会人や職業人の生き方やものの見方、考え方などに触れる機会が多いこと | 89.3% | 10.7% | 0.0% | | | |
| 調査や研究、発表、職場体験など体験的な学習ができること | 89.3% | 10.7% | 0.0% | | | |
| 進学希望にも就職希望にも柔軟に対応できること | 89.3% | 10.7% | 0.0% | | | |
| 少人数や習熟度別で受ける授業があること | 92.9% | 7.1% | 0.0% | | | |
| 6年間を通じて、多くの仲間と学ぶことができること | 71.4% | 25.0% | 3.6% | | | |
| 中学生の時から高校の先生に習っていたので高校生活をスムーズにスタートさせることができたこと | 67.9% | 32.1% | 0.0% | | | |
| ○ 入学時ことについて (①高校入試の影響を受けずゆとりある学校生活を送ることができる/②中学校と連携した教育活動がある/③他の高校の受検も可能である/④他の中学校卒業者も入学することができる/⑤いずれも知らなかった/⑥その他) | | | | | | |
| 子どもが受検するとき、保護者として中高一貫教育校についてどのようなことを知っていたか | | | | | | |
| | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
| | 78.6% | 64.3% | 39.3% | 53.6% | 0.0% | 0.0% |

| 質問内容 | 回答 | | |
|---|-------|-------|-------|
| | ①、② | ③ | ④、⑤ |
| ○ 子どもを中高一貫教育校に進学させた理由について (①とても当てはまる/②まあ当てはまる/③どちらともいえない/④あまり当てはまらない/⑤全く当てはまらない) | | | |
| 連携型での学習を継続させたいと考えたから | 35.7% | 46.4% | 17.9% |
| 子どもの成績(適性)に合った学校だったから | 53.6% | 28.6% | 17.9% |
| 高校受検の時(後期課程に進む際)に、学力検査がないから | 39.3% | 39.3% | 21.4% |
| 子どもが学びたい分野の勉強ができそうだったから | 39.3% | 53.6% | 7.1% |
| 子どものやりたい部活動ができそうだったから | 28.6% | 42.9% | 28.6% |
| 子どもの進学に有利な勉強ができそうだったから | 50.0% | 35.7% | 14.3% |
| 子どもの就職に有利な勉強ができそうだったから | 42.9% | 46.4% | 10.7% |
| 入学後に、進学と就職のどちらでも選べると思ったから | 57.1% | 35.7% | 7.1% |
| 資格を取得することができそうだったから | 64.3% | 28.6% | 7.1% |
| 他の学校と比べて通学に便利な場所にあったから | 89.3% | 10.7% | 0.0% |
| 子どもが希望したから | 82.1% | 17.9% | 0.0% |
| ○ 中高一貫教育校に入学してよかったと思うか (①よかったと思う/②まあよかったと思う/③どちらともいえない/④あまりよかったと思わない/⑤よかったと思わない) | 64.3% | 32.1% | 3.6% |

4-4

中高一貫教育学校 連携中以外から進学した生徒の保護者

対象校数：8校（鷗川,えりも,奥尻,上川,湧別,鹿追,広尾,羅臼）

回答者数：13名

| 質問内容 | 回答 | | | | | |
|---|-------|-------|-------|------|------|------|
| | ①、② | ③ | ④、⑤ | | | |
| ○ 中高一貫教育を行っている学校に入学させてどのような点がよかったか(①とてもよかった/②まあよかった/③どちらともいえない/④あまりよくなかった/⑤全くよくなかった) | | | | | | |
| 子どもの個性や能力を伸ばせること | 76.9% | 23.1% | 0.0% | | | |
| 学校行事などで中学生(前期課程の生徒)と高校生(後期課程の生徒)の交流があること | 69.2% | 30.8% | 0.0% | | | |
| 中学生(前期課程の生徒)と高校生(後期課程の生徒)がともに学ぶ活動があること | 69.2% | 30.8% | 0.0% | | | |
| 特色ある「総合的な学習(探究)の時間」があること | 84.6% | 15.4% | 0.0% | | | |
| 進路や将来の生き方についてじっくり考えることができること | 92.3% | 7.7% | 0.0% | | | |
| 地域の社会人や職業人の生き方やものの見方、考え方などに触れる機会が多いこと | 84.6% | 15.4% | 0.0% | | | |
| 調査や研究、発表、職場体験など体験的な学習ができること | 84.6% | 15.4% | 0.0% | | | |
| 進学希望にも就職希望にも柔軟に対応できること | 84.6% | 15.4% | 0.0% | | | |
| 少人数や習熟度別で受ける授業があること | 92.3% | 7.7% | 0.0% | | | |
| ○ 入学時ことについて (①高校入試の影響を受けずゆとりある学校生活を送ることができる/②中学校と連携した教育活動がある/③他の高校の受検も可能である/④他の中学校卒業生も入学することができる/⑤いずれも知らなかった/⑥その他) | | | | | | |
| 子どもが受検するとき、保護者として中高一貫教育校についてどのようなことを知っていたか | | | | | | |
| | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
| | 15.4% | 15.4% | 69.2% | 7.7% | 0.0% | 0.0% |
| ○ 子どもを中高一貫教育校に進学させた理由について (①とても当てはまる/②まあ当てはまる/③どちらともいえない/④あまり当てはまらない/⑤全く当てはまらない) | | | | | | |
| 子どもの成績(適性)に合った学校だったから | 30.8% | 53.8% | 15.4% | | | |
| 子どもが学びたい分野の勉強ができそうだったから | 38.5% | 46.2% | 15.4% | | | |
| 子どものやりたい部活動ができそうだったから | 46.2% | 15.4% | 38.5% | | | |
| 子どもの進学に有利な勉強ができそうだったから | 30.8% | 38.5% | 30.8% | | | |
| 子どもの就職に有利な勉強ができそうだったから | 30.8% | 53.8% | 15.4% | | | |
| 入学後に、進学と就職のどちらでも選べると思ったから | 38.5% | 46.2% | 15.4% | | | |
| 資格を取得することができそうだったから | 46.2% | 30.8% | 23.1% | | | |
| 他の学校と比べて通学に便利な場所にあったから | 23.1% | 30.8% | 46.2% | | | |
| 子どもが希望したから | 84.6% | 7.7% | 7.7% | | | |
| 中高一貫教育校に高校から入学することについて、不安はなかったか (①全く不安はなかった/②少し不安はあった/③不安であった) | ① | ② | ③ | | | |
| | 76.9% | 15.4% | 7.7% | | | |
| ○ 中高一貫教育校に入学してよかったと思うか (①よかったと思う/②まあよかったと思う/③どちらともいえない/④あまりよかったと思わない/⑤よかったと思わない) | 84.6% | 15.4% | 0.0% | | | |

対象校数：25校(夕張,月形①,寿都,蘭越,虻田,厚真,穂別,平取,南茅部,福島商業,長万部,松前,上ノ国,下川商業,美深,苫前商業,豊富,常呂,津別,清里,佐呂間,興部,雄武,阿寒,羅臼)

※ 対象校の後ろに記載の丸数字は対象学年を示す。(全学年が対象となる場合は無印)

回答者数：435名

| 質問内容 | 回答 | | |
|---|------------|------------|-------|
| | ①、② | ③ | ④、⑤ |
| ○ 現在の高校で学んでどのような点がよかったか (①とてもよかった/②まあよかった/③どちらともいえない/④あまりよくなかった/⑤全くよくなかった) | | | |
| 自分の興味・関心に応じて教科・科目が選択できること | 65.5% | 26.0% | 8.5% |
| 自分の進路希望に応じて教科・科目が選択できること | 69.7% | 22.8% | 7.6% |
| 進路や将来の生き方についてじっくり考えることができること | 74.0% | 20.9% | 5.1% |
| 調査や研究、発表、職場体験など体験的な学習ができること | 80.9% | 14.7% | 4.4% |
| 進学希望にも就職希望にも柔軟に対応できること | 75.4% | 19.3% | 5.3% |
| 少人数できめ細かな授業を受けることができること | 74.7% | 19.5% | 5.7% |
| 少人数なので先生方や友人と多く触れ合うことができること | 78.4% | 16.3% | 5.3% |
| 生徒会活動や部活動などができること | 73.8% | 19.8% | 6.4% |
| 自宅から近く通学時間が短いこと | 63.4% | 22.3% | 14.3% |
| ○ 地域連携特例校において実施している遠隔授業(学校の教室でコンピュータを利用して、離れたところにいる先生からの授業を受ける)についてどのような点がよかったか (①とてもそう思う/②まあそう思う/③どちらともいえない/④あまりそう思わない/⑤全くそう思わない) | | | |
| 高校入学後、遠隔授業を受けたことがあるか。 (①ある/②ない) | ① 51.3% | ② 48.7% | |
| 遠隔授業でも先生の説明や指示はきちんと理解できること | 80.3% | 14.8% | 4.9% |
| 大規模校で授業をしている先生の授業を受けることができること | 66.8% | 25.6% | 7.6% |
| 遠隔授業で他校の生徒と一緒に授業を受けること(複数校同時配信)はとても刺激になる | 44.4% | 37.7% | 17.9% |
| 遠隔授業は自分の進路希望に結びつくと思う | 48.9% | 35.0% | 16.1% |
| ○ 地域連携特例校において実施している出張授業(他校の先生が担当する授業)についてどのような点がよかったか (①とてもそう思う/②まあそう思う/③どちらともいえない/④あまりそう思わない/⑤全くそう思わない) | | | |
| 高校入学後、出張授業を受けたことがあるか。 (①ある/②ない) | ① 42.3% | ② 57.7% | |
| 他校の先生方の授業を受けることは新鮮であること | 77.7% | 16.8% | 5.4% |
| 本校では受けられない科目や少人数による指導が受けられること | 64.1% | 29.9% | 6.0% |
| 授業以外でも質問する機会があること | 52.2% | 34.2% | 13.6% |

| 質問内容 | | 回答 | | |
|--|---|------------|------------|------------|
| | | ①、② | ③ | ④、⑤ |
| | 他校の生徒の様子などを聞くこともでき刺激があること | 47.8% | 33.2% | 19.0% |
| | 授業以外のことでも関わってもらえる機会があること | 45.7% | 36.4% | 17.9% |
| ○ 地域連携特例校と地域連携協力校との交流についてどのような点がよかったか (①とてもそう思う/②まあそう思う/③どちらともいえない/④あまりそう思わない/⑤全くそう思わない) | | | | |
| | 高校入学後、授業や生徒会活動、部活動などで、協力校の生徒と交流を行ったことがあるか。(①ある/②ない) | ① 48.0% | ② 52.0% | |
| | コミュニケーションを図り協力して活動することができたこと | 79.9% | 15.3% | 4.8% |
| | 交流を通して人間関係が広がったこと | 67.5% | 19.6% | 12.9% |
| | 普段することができない学習や活動ができたこと | 84.7% | 10.5% | 4.8% |
| | 普段は気付かないことに気が付いたり、考えが深まったりしたこと | 77.0% | 16.3% | 6.7% |
| | 今後の学校生活の刺激となったこと | 68.9% | 23.9% | 7.2% |
| ○ 高校入学時のことについて (①1学年1学級の学校であること/②遠隔授業を受けられる学校であること/③地元市町からの支援を受けている学校であること/④他校との積極的な交流があること/⑤いずれも知らなかった/⑥その他) | | | | |
| | 高校を受検するとき、地域連携特例校についてどのようなことを知っていたか | | | |
| | | ① 47.8% | ② 17.7% | ③ 41.8% |
| | | ④ 5.3% | ⑤ 31.0% | ⑥ 1.8% |
| ○ 現在の高校への進学を決めた理由について (①とても当てはまる/②まあ当てはまる/③どちらともいえない/④あまり当てはまらない/⑤全く当てはまらない) | | | | |
| | 自分の成績に合った高校だったから | 67.6% | 21.4% | 11.0% |
| | 学びたい分野の勉強ができそうだったから | 42.5% | 35.9% | 21.6% |
| | 進学に対応した勉強ができそうだったから | 50.3% | 33.8% | 15.9% |
| | 就職に対応した勉強ができそうだったから | 44.4% | 36.6% | 19.1% |
| | 高校入学後に、進学と就職のどちらでも選べると思ったから | 64.4% | 24.6% | 11.0% |
| | 資格を取得することができそうだったから | 68.3% | 21.6% | 10.1% |
| | 他の高校と比べて通学に便利な場所にあったから | 65.5% | 18.4% | 16.1% |
| | 親や先生にすすめられたから | 48.7% | 30.1% | 21.1% |
| | 小規模校だったから | 48.5% | 32.9% | 18.6% |
| | 遠隔授業により、進路実現に向けた教科・科目の指導を受けられそうだったから | 28.0% | 43.0% | 29.0% |
| ○ 現在の高校に入学してよかったと思うか (①よかったと思う/②まあよかったと思う/③どちらともいえない/④あまりよかったと思わない/⑤よかったと思わない) | | | | |
| | | 68.3% | 17.9% | 13.8% |

対象校数：25校(夕張,月形①,寿都,蘭越,虻田,厚真,穂別,平取,南茅部,福島商業,長万部,松前,上ノ国,下川商業,美深,苫前商業,豊富,常呂,津別,清里,佐呂間,興部,雄武,阿寒,羅臼)

※ 対象校の後ろに記載の丸数字は対象学年を示す。(全学年が対象となる場合は無印)

回答者数：100名

| 質問内容 | 回答 | | | | | |
|--|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| | ①、② | ③ | ④、⑤ | | | |
| ○ 現在の高校に入学させてどのような点がよかったか (①とてもよかった/②まあよかった/③どちらともいえない/④あまりよくなかった/⑤全くよくなかった) | | | | | | |
| 少人数できめ細かな授業を受けることができること | 86.0% | 11.0% | 3.0% | | | |
| 職場体験など地域と連携した体験的な学習ができること | 85.0% | 12.0% | 3.0% | | | |
| 進学希望にも就職希望にも柔軟に対応できること | 84.0% | 13.0% | 3.0% | | | |
| 子どもが進路や将来の生き方についてじっくり考えることができること | 77.0% | 20.0% | 3.0% | | | |
| 自宅から近く通学時間が短いこと | 77.0% | 13.0% | 10.0% | | | |
| ○ 高校入学時のことについて (①1学年1学級の学校であること/②遠隔授業を受けられる学校であること/③地元市町からの支援を受けている学校であること/④他校との積極的な交流があること/⑤いずれも知らなかった/⑥その他) | | | | | | |
| 高校を受験するとき、保護者として地域連携特例校についてどのようなことを知っていたか | | | | | | |
| | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
| | 61.0% | 46.0% | 64.0% | 12.0% | 10.0% | 0.0% |
| ○ 子どもを現在の高校へ進学させた理由について (①とても当てはまる/②まあ当てはまる/③どちらともいえない/④あまり当てはまらない/⑤全く当てはまらない) | | | | | | |
| 子どもの成績に合った高校だったから | 66.0% | 17.0% | 17.0% | | | |
| 子どもが学びたい分野の勉強ができそうだったから | 47.0% | 34.0% | 19.0% | | | |
| 子どもの進学に対応した勉強ができそうだったから | 54.0% | 38.0% | 8.0% | | | |
| 子どもの就職に対応した勉強ができそうだったから | 55.0% | 33.0% | 12.0% | | | |
| 高校入学後に、進学と就職のどちらでも選べると思ったから | 76.0% | 16.0% | 8.0% | | | |
| 資格を取得することができそうだったから | 76.0% | 15.0% | 9.0% | | | |
| 他の高校と比べて通学に便利な場所にあったから | 76.0% | 13.0% | 11.0% | | | |
| 子どもが希望したから | 75.0% | 16.0% | 9.0% | | | |
| 小規模校だったから | 62.0% | 24.0% | 14.0% | | | |
| 遠隔授業により、子どもの進路実現に向けた教科・科目の指導を受けられそうだったから | 46.0% | 34.0% | 20.0% | | | |

| 質問内容 | 回答 | | | | | | | | | | | | |
|---|-------|-------|-------|------|---|-------|-------|-------|-------|------|--|--|--|
| | ①、② | ③ | ④、⑤ | | | | | | | | | | |
| <p>○ 地域連携特例校で実施している遠隔授業(学校の教室でコンピュータを利用して、離れたところにいる先生からの授業を受ける)について (遠隔授業についてどのように感じているか:①不安はほとんどない/②一部不安に感じていることがある/③不安を感じていることが多い/④本校の遠隔授業の取組については知らない/⑤その他) (遠隔授業について期待することは、どのようなことか:①習熟度別指導や少人数指導、チームティーチングなど、個に応じた指導の充実/②選択科目の増設など、生徒の学習の選択幅の拡大/③多様な教員から指導を受ける機会の増加/④遠隔授業の実践を通じた教員の指導力の向上/⑤その他)</p> | | | | | | | | | | | | | |
| <p>遠隔授業についてどのように感じているか</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> <th>⑤</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>66.0%</td> <td>11.0%</td> <td>3.0%</td> <td>18.0%</td> <td>2.0%</td> </tr> </tbody> </table> | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | 66.0% | 11.0% | 3.0% | 18.0% | 2.0% | | | |
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | | | | | | | | | |
| 66.0% | 11.0% | 3.0% | 18.0% | 2.0% | | | | | | | | | |
| <p>遠隔授業について期待することは、どのようなことか</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> <th>⑤</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>52.0%</td> <td>51.0%</td> <td>56.0%</td> <td>28.0%</td> <td>5.0%</td> </tr> </tbody> </table> | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | 52.0% | 51.0% | 56.0% | 28.0% | 5.0% | | | |
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | | | | | | | | | |
| 52.0% | 51.0% | 56.0% | 28.0% | 5.0% | | | | | | | | | |
| <p>○ 現在の高校に進学させてよかったと思うか (①よかったと思う/②まあよかったと思う/③どちらともいえない/④あまりよかったと思わない/⑤よかったと思わない)</p> | 84.0% | 11.0% | 5.0% | | | | | | | | | | |

7-1 総合学科校長

対象校数：25校(夕張,月形,寿都,蘭越,虻田,厚真,穂別,平取,南茅部,福島商業,長万部,松前,上ノ国,下川商業,美深,苫前商業,豊富,常呂,津別,清里,佐呂間,興部,雄武,阿寒,羅臼)

回答者数：25名

①とても当てはまる/②まあ当てはまる/③どちらともいえない/④あまり当てはまらない/⑤全く当てはまらない

| 質問内容 | 回答 | | |
|--|--------|-------|-------|
| | ①、② | ③ | ④、⑤ |
| ○ 多様なタイプの高校等における成果について | | | |
| 生徒が将来の職業選択を視野に入れ、各種ガイダンスなどによって自分にあった進路をじっくり考えながら決めることができている。 | 100.0% | 0.0% | 0.0% |
| 「学ぶこと」「働くこと」への意欲や積極的な態度を育成することができている。 | 100.0% | 0.0% | 0.0% |
| キャリア教育を組織的・計画的に推進することができている。 | 100.0% | 0.0% | 0.0% |
| 習熟度別学習やチームティーチングなど、生徒の多様な興味・関心、進路希望等に対応した教育活動を実施することができている。 | 88.2% | 5.9% | 5.9% |
| 教職員の意識改革・資質向上を図ることができている。 | 82.4% | 11.8% | 5.9% |
| 入学年次にかかわらず履修可能な科目を開設することができている。 | 88.2% | 5.9% | 5.9% |
| 生徒のニーズにあった様々な教科・科目を開設することができている。 | 100.0% | 0.0% | 0.0% |
| 校外学習や地域との連携など地域の教育資源を活用した授業が実施されている。 | 94.1% | 5.9% | 0.0% |
| 就職や進学などに向けて、各種資格や検定に向けた指導が実施されている。 | 94.1% | 5.9% | 0.0% |
| 学校外における学修の単位認定や履修と修得の分離など多様なタイプの高校の趣旨を生かした教務内規が整備され、生徒への指導や支援が適切に行われている。 | 94.1% | 5.9% | 0.0% |
| ○ 多様なタイプの高校等における課題について | | | |
| 外部講師や体験学習の受け入れ先の確保など、地域や企業と連携を図ることが難しい。 | 29.4% | 23.5% | 47.1% |
| 生徒が目的意識や将来の進路への自覚を持っていないため、主体的な科目選択を行わせることが難しい。 | 23.5% | 5.9% | 70.6% |
| 生徒の基礎的な学力が不足しているため、専門教育を施すことが難しい。 | 17.6% | 23.5% | 58.8% |
| 選択科目が多いため、個々の生徒の学習・状況を把握することが難しい。 | 11.8% | 0.0% | 88.2% |
| 選択科目が多いことから生徒のホームルームへの帰属意識が薄く、生徒の人間関係が希薄になりがちである。 | 0.0% | 5.9% | 94.1% |
| 教職員の多様なタイプの高校に対する理解が不十分なため、教育活動の改善・充実が進まない。 | 5.9% | 11.8% | 82.4% |
| 様々な教科・科目を開設しているため、他の学科と比べて教職員の負担が大きい。 | 52.9% | 47.1% | 0.0% |
| 中学生や保護者の多様なタイプの高校に対する理解や認知度が低い。 | 52.9% | 29.4% | 17.6% |
| 教員数の関係で、多様な教科・科目を開設することが難しい。 | 70.6% | 11.8% | 17.6% |

7-2 単位制校長

対象校数：36校(岩見沢西,砂川,滝川,札幌手稲,札幌東陵,札幌白石,札幌英藍,札幌白陵,大麻,北広島,小樽桜陽,小樽未来創造,倶知安,岩内,室蘭清水丘,苫小牧南,伊達開来,登別青嶺①,静内,函館西,市立函館,江差,旭川北,旭川西,旭川永嶺,富良野,留萌,稚内,北見柏陽,網走南ヶ丘,遠軽,北見緑陵,帯広三条,音更,釧路江南,根室)

回答者数：36名

①とても当てはまる/②まあ当てはまる/③どちらともいえない/④あまり当てはまらない/⑤全く当てはまらない

| 質問内容 | 回答 | | |
|--|--------|-------|-------|
| | ①、② | ③ | ④、⑤ |
| ○ 多様なタイプの高校等における成果について | | | |
| 生徒が将来の職業選択を視野に入れ、各種ガイダンスなどによって自分にあった進路をじっくり考えながら決めることができている。 | 97.2% | 2.8% | 0.0% |
| 「学ぶこと」「働くこと」への意欲や積極的な態度を育成することができている。 | 100.0% | 0.0% | 0.0% |
| キャリア教育を組織的・計画的に推進することができている。 | 91.7% | 5.6% | 2.8% |
| 習熟度別学習やチームティーチングなど、生徒の多様な興味・関心、進路希望等に対応した教育活動を実施することができている。 | 100.0% | 0.0% | 0.0% |
| 教職員の意識改革・資質向上を図ることができている。 | 75.0% | 22.2% | 2.8% |
| 入学年次にかかわらず履修可能な科目を開設することができている。 | 69.4% | 13.9% | 16.7% |
| 生徒のニーズにあった様々な教科・科目を開設することができている。 | 97.2% | 2.8% | 0.0% |
| 校外学習や地域との連携など地域の教育資源を活用した授業が実施されている。 | 86.1% | 11.1% | 2.8% |
| 資格取得や技術習得に向けた指導が行われ、生徒が積極的に取り組んでいる。 | 66.7% | 27.8% | 5.6% |
| 学校外における学修の単位認定や履修と修得の分離など多様なタイプの高校の趣旨を生かした教務内規が整備され、生徒への指導や支援が適切に行われている。 | 83.3% | 13.9% | 2.8% |
| ○ 多様なタイプの高校等における課題について | | | |
| 外部講師や体験学習の受け入れ先の確保など、地域や企業と連携を図ることが難しい。 | 19.4% | 19.4% | 61.1% |
| 生徒が目的意識や将来の進路への自覚を持っていないため、主体的な科目選択を行わせることが難しい。 | 5.6% | 27.8% | 66.7% |
| 生徒の基礎的な学力が不足しているため、専門教育を施すことが難しい。 | 5.6% | 30.6% | 63.9% |
| 選択科目が多いため、個々の生徒の学習・状況を把握することが難しい。 | 2.8% | 16.7% | 80.6% |
| 選択科目が多いことから生徒のホームルームへの帰属意識が薄く、生徒の人間関係が希薄になりがちである。 | 0.0% | 11.1% | 88.9% |
| 教職員の多様なタイプの高校に対する理解が不十分なため、教育活動の改善・充実が進まない。 | 11.1% | 33.3% | 55.6% |
| 様々な教科・科目を開設しているため、他の学科と比べて教職員の負担が大きい。 | 47.2% | 33.3% | 19.4% |
| 中学生や保護者の多様なタイプの高校に対する理解や認知度が低い。 | 36.1% | 33.3% | 30.6% |
| 教員数の関係で、多様な教科・科目を開設することが難しい。 | 25.0% | 27.8% | 47.2% |

7-3 フィールド制校長

対象校数：7校(札幌丘珠,札幌あすかせ,札幌平岡,野幌,千歳北陽,北見緑陵②③,釧路北陽)

回答者数：7名

①とても当てはまる/②まあ当てはまる/③どちらともいえない/④あまり当てはまらない/⑤全く当てはまらない

| 質問内容 | 回答 | | |
|--|--------|-------|-------|
| | ①、② | ③ | ④、⑤ |
| ○ 多様なタイプの高校等における成果について | | | |
| 生徒が将来の職業選択を視野に入れ、各種ガイダンスなどによって自分にあった進路をじっくり考えながら決めることができている。 | 100.0% | 0.0% | 0.0% |
| 「学ぶこと」「働くこと」への意欲や積極的な態度を育成することができている。 | 57.1% | 42.9% | 0.0% |
| キャリア教育を組織的・計画的に推進することができている。 | 71.4% | 28.6% | 0.0% |
| 習熟度別学習やチームティーチングなど、生徒の多様な興味・関心、進路希望等に対応した教育活動を実施することができている。 | 71.4% | 14.3% | 14.3% |
| 教職員の意識改革・資質向上を図ることができている。 | 57.1% | 14.3% | 28.6% |
| 生徒のニーズにあった様々な教科・科目を開設することができている。 | 85.7% | 0.0% | 14.3% |
| 校外学習や地域との連携など地域の教育資源を活用した授業が実施されている。 | 85.7% | 0.0% | 14.3% |
| 資格取得や技術習得に向けた指導が行われ、生徒が積極的に取り組んでいる。 | 71.4% | 28.6% | 0.0% |
| ○ 多様なタイプの高校等における課題について | | | |
| 外部講師や体験学習の受け入れ先の確保など、地域や企業と連携を図ることが難しい。 | 42.9% | 0.0% | 57.1% |
| 生徒が目的意識や将来の進路への自覚を持っていないため、主体的な科目選択を行わせることが難しい。 | 57.1% | 14.3% | 28.6% |
| 生徒の基礎的な学力が不足しているため、専門教育を施すことが難しい。 | 42.9% | 14.3% | 42.9% |
| 選択科目が多いため、個々の生徒の学習・状況を把握することが難しい。 | 14.3% | 28.6% | 57.1% |
| 選択科目が多いことから生徒のホームルームへの帰属意識が薄く、生徒の人間関係が希薄になりがちである。 | 0.0% | 14.3% | 85.7% |
| 教職員の多様なタイプの高校に対する理解が不十分なため、教育活動の改善・充実が進まない。 | 14.3% | 28.6% | 57.1% |
| 様々な教科・科目を開設しているため、他の学科と比べて教職員の負担が大きい。 | 57.1% | 14.3% | 28.6% |
| 中学生や保護者の多様なタイプの高校に対する理解や認知度が低い。 | 42.9% | 42.9% | 14.3% |
| フィールド制以外の学校との差別化を図ることが難しい。 | 57.1% | 14.3% | 28.6% |
| 教員数の関係で、多様な教科・科目を開設することが難しい。 | 57.1% | 28.6% | 14.3% |

8-1 中高一貫校校長

対象校数：8校(鷗川,えりも,奥尻,上川,湧別,鹿追,広尾,羅臼)

回答者数：8名

①とても当てはまる/②まあ当てはまる/③どちらともいえない/④あまり当てはまらない/⑤全く当てはまらない

| 質問内容 | 回答 | | |
|---|--------|-------|-------|
| | ①、② | ③ | ④、⑤ |
| ○ 中高一貫教育の成果について | | | |
| 6年間の計画的・継続的な教育活動を行うことで、生徒の個性を伸ばすことや早期に優れた才能を発見することなどができている。 | 87.5% | 12.5% | 0.0% |
| 高校入試の影響を受けずに、ゆとりある安定した学校生活をおくることができている。 | 75.0% | 25.0% | 0.0% |
| 異年齢交流による社会性や豊かな人間性を育むことができている。 | 100.0% | 0.0% | 0.0% |
| 中高間の教員の連携により学力の定着や向上が図られている。 | 62.5% | 37.5% | 0.0% |
| 中高間の教員の連携により生徒理解が深まったり、生徒指導の充実が図られている。 | 87.5% | 12.5% | 0.0% |
| キャリア教育を組織的・計画的に推進することができている。 | 75.0% | 25.0% | 0.0% |
| 地域との結びつきが一層強くなっている。 | 100.0% | 0.0% | 0.0% |
| 教職員の意識改革・資質向上が図られている。 | 75.0% | 25.0% | 0.0% |
| 校外学習や地域との連携など地域の教育資源を活用した授業が実施されている。 | 100.0% | 0.0% | 0.0% |
| ○ 中高一貫教育の課題について | | | |
| 生徒の人間関係が固定化されがちなこと。 | 75.0% | 12.5% | 12.5% |
| 教員の負担が大きいこと。 | 37.5% | 37.5% | 25.0% |
| 連携中学校から進学する生徒が少ないこと。 | 75.0% | 12.5% | 12.5% |
| 連携中学校以外から入学した生徒に対応するため学校生活を進める上で配慮が必要なこと。 | 37.5% | 37.5% | 25.0% |
| 生徒間で学力差が大きいこと。 | 87.5% | 12.5% | 0.0% |
| 中学校と高校の教員の連携が不十分なこと。 | 50.0% | 12.5% | 37.5% |
| 中学校と高校の間で時間割の調整がしにくいこと。 | 37.5% | 0.0% | 62.5% |
| 学校間の移動に時間がかかること。 | 37.5% | 0.0% | 62.5% |
| 中学校と高校の教員がお互いの学校で授業を行うなどの双方向の連携が十分でないこと。 | 50.0% | 12.5% | 37.5% |

8-2 連携型中高一貫教育校のある教育委員会

対象市町村数 8市町村(鷗川,えりも,奥尻,上川,湧別,鹿追,広尾,羅臼)

回答者数: 4名

①とても当てはまる/②まあ当てはまる/③どちらともいえない/④あまり当てはまらない/⑤全く当てはまらない

| 質問内容 | 回答 | | |
|---|--------|-------|-------|
| | ①、② | ③ | ④、⑤ |
| ○ 中高一貫教育の成果について | | | |
| 6年間の計画的・継続的な教育活動を行うことで、生徒の個性を伸ばすことや早期に優れた才能を発見することなどができている。 | 75.0% | 0.0% | 25.0% |
| 高校入試の影響を受けずに、ゆとりある安定した学校生活をおくることができている。 | 75.0% | 25.0% | 0.0% |
| 異年齢交流による社会性や豊かな人間性を育むことができている。 | 100.0% | 0.0% | 0.0% |
| 中高間の教員の連携により学力の定着や向上が図られている。 | 50.0% | 50.0% | 0.0% |
| 中高間の教員の連携により生徒理解が深まったり、生徒指導の充実が図られている。 | 75.0% | 25.0% | 0.0% |
| キャリア教育を組織的・計画的に推進することができている。 | 75.0% | 25.0% | 0.0% |
| 地域との結びつきが一層強くなっている。 | 75.0% | 25.0% | 0.0% |
| 教職員の意識改革・資質向上が図られている。 | 75.0% | 25.0% | 0.0% |
| 校外学習や地域との連携など地域の教育資源を活用した授業が実施されている。 | 100.0% | 0.0% | 0.0% |
| 6年かけて生徒を育てるという意識が、小中学生の保護者をはじめ一般町民とも共有されている | 50.0% | 50.0% | 0.0% |
| ○ 中高一貫教育の課題について | | | |
| 生徒の人間関係が固定化されがちなこと。 | 25.0% | 50.0% | 25.0% |
| 教員の負担が大きいこと。 | 75.0% | 0.0% | 25.0% |
| 連携中学校から進学する生徒が少ないこと。 | 25.0% | 25.0% | 50.0% |
| 生徒間で学力差が大きいこと。 | 25.0% | 50.0% | 25.0% |
| 中学校と高校の教員の連携が不十分なこと。 | 0.0% | 75.0% | 25.0% |
| 中学校と高校の間で時間割の調整がしにくいこと。 | 0.0% | 75.0% | 25.0% |
| 中学校と高校の教員がお互いの学校で授業を行うなどの双方向の連携が十分でないこと。 | 25.0% | 50.0% | 25.0% |
| 少子化の影響で、中学校の生徒数が減少してきていること | 75.0% | 25.0% | 0.0% |

対象校数：25校(夕張,月形,寿都,蘭越,虻田,厚真,穂別,平取,南茅部,福島商業,長万部,松前,上ノ国,下川商業,美深,苫前商業,豊富,常呂,津別,清里,佐呂間,興部,雄武,阿寒,羅臼)

回答者数：25名

①とても当てはまる/②まあ当てはまる/③どちらともいえない/④あまり当てはまらない/⑤全く当てはまらない

| 質問内容 | 回答 | | |
|---|-------|-------|-------|
| | ①、② | ③ | ④、⑤ |
| ○ 出張事業における成果について | | | |
| 地域連携協力校からの出張授業は成果があるか。 | 84.6% | 11.5% | 3.8% |
| 習熟度別指導や少人数指導、チーム・ティーチング等による授業が可能となり、生徒一人一人の能力に応じた指導ができるようになった。 | 80.0% | 16.0% | 4.0% |
| 専門の教員がいない教科の科目であっても開設できるようになり生徒の選択幅が広がるなど教育課程の充実が図られた | 68.0% | 28.0% | 4.0% |
| 専門性の高い教員が指導することにより、生徒の教科に対する興味・関心が高まったり学習意欲が向上するなどした | 80.0% | 20.0% | 0.0% |
| 地域連携協力校の教員と地域連携特例校の教員で教科指導の打合せが行われることにより授業改善や指導力の向上に繋がった。 | 72.0% | 24.0% | 4.0% |
| 地域連携協力校の教員との情報交換は、地域連携特例校の教員にとって他校の様子を知ることになり大変よい刺激になっている。 | 84.0% | 12.0% | 4.0% |
| 教科指導の充実などが図られるので、地域連携特例校への信頼や期待につながっている。 | 88.0% | 12.0% | 0.0% |
| ○ 出張授業における課題について | | | |
| 放課後の補習などの個別指導の時間に制限があること。 | 42.3% | 23.1% | 34.6% |
| 出張授業を行う教員が部活動の遠征や出張等により授業変更が生じた場合、時間割の調整が困難だったり、補充等の対応が必要であること。 | 42.3% | 23.1% | 34.6% |
| 指導の過程や評価、生徒の状況などについて、情報交換する時間がなかなかとれないこと。 | 30.8% | 19.2% | 50.0% |
| 地域連携特例校の希望にそった教科・科目での出張授業ができないことがあること。 | 38.5% | 26.9% | 34.6% |
| 時間割の編成に制約があること。 | 53.8% | 19.2% | 26.9% |
| ○ T-baseからの遠隔授業における成果について (T-baseからの複数校同時配信により生徒が切磋琢磨できる環境がつけられた:①とても当てはまる/②まあ当てはまる/③どちらともいえない/④あまり当てはまらない/⑤全く当てはまらない/⑥同時配信を受信していない) | | | |
| T-baseからの授業により、生徒の教科に対する興味・関心が高まったり学習意欲が向上するなどした。 | 76.9% | 15.4% | 7.7% |
| T-baseからの複数校同時配信により生徒が切磋琢磨できる環境がつけられた | | | |
| ①、② | ③ | ④、⑤ | ⑥ |
| 42.3% | 7.7% | 19.2% | 30.8% |
| 長期休業中の講習や進学に係るガイダンスなどをT-baseを活用して実施できるようになった | 69.2% | 15.4% | 15.4% |
| T-baseからの遠隔授業により教育課程が充実した | 73.1% | 23.1% | 3.8% |
| T-baseからの遠隔授業を受けることで、自校の教員の意識が向上した | 61.5% | 15.4% | 23.1% |
| T-baseからの遠隔授業を実施することで、地域や保護者からの信頼や期待が高まった | 65.4% | 23.1% | 11.5% |
| T-baseからの遠隔授業は、大学等への進学から就職までの多様な進路希望など、生徒の自己実現に成果がある | 65.4% | 19.2% | 15.4% |

| 質問内容 | 回答 | | |
|--|-------|-------|-------|
| | ①、② | ③ | ④、⑤ |
| ○ T-baseからの遠隔授業における課題について | | | |
| 指導の過程や評価、生徒の状況などについて、情報交換する時間がなかなかとれないこと。 | 34.6% | 15.4% | 50.0% |
| 受信側にも補助者を1名配置しなければならないこと | 80.8% | 7.7% | 11.5% |
| 生徒が質問をしにくいこと。 | 34.6% | 19.2% | 46.2% |
| 宿題や課題などの確認、返却に時間がかかること。 | 19.2% | 26.9% | 53.8% |
| 中学生や保護者に遠隔授業の取組について、積極的に情報発信する必要があること。 | 57.7% | 19.2% | 23.1% |
| 機材の準備に時間がかかること。 | 26.9% | 19.2% | 53.8% |
| 複数校同時配信時の授業がやりにくいこと。 | 30.8% | 30.8% | 38.5% |
| 時程調整、日程調整が難しいこと。 | 76.9% | 3.8% | 19.2% |
| ○ 協力校との間の授業以外の連携における成果について | | | |
| 部活動の合同練習や生徒会交流などを通じて、両校の生徒の交流が深まったり、生徒の活動が活性化するなどした | 57.7% | 23.1% | 19.2% |
| 合同の校内研修会や講演会等を実施したことで、教員の研修の機会が増え、研修内容の充実が図られた | 50.0% | 19.2% | 30.8% |
| 地域連携特例校単独では実施することが難しいが、芸術鑑賞や進路講話などを合同で実施することができ教育活動の充実が図られた。 | 42.3% | 26.9% | 30.8% |
| 連携委員会を通じた地域連携協力校の教員との連携により、教員同士の理解が深まったり、教員の力量向上が図られた。 | 69.2% | 15.4% | 15.4% |
| 地域連携協力校との連携が教員の意識改革につながった。 | 50.0% | 34.6% | 15.4% |
| ○ 協力校との間の授業以外の連携における課題について | | | |
| 部活動の合同練習や生徒会交流などの生徒の交流は、実施時期や時間の調整、交通費などの費用の問題がある。 | 50.0% | 23.1% | 26.9% |
| 生徒間の交流が、生徒同士の主体的な取組となるよう、遠隔システムの有効活用など実施方法を検討することが必要である。 | 65.4% | 11.5% | 23.1% |
| 生徒間の交流が、生徒会や特定の部活動だけとなっていることから、対象生徒の範囲を広げていくことが必要である。 | 50.0% | 30.8% | 19.2% |
| 合同の校内研修会や講演会などをきっかけにして、地域連携協力校と地域連携特例校の教員が一層連携することが必要である。 | 65.4% | 15.4% | 19.2% |
| 地域連携協力校と合同で行う芸術鑑賞や進路講話などは、生徒の実態が異なることから、内容や実施時期などの調整が難しい。 | 42.3% | 15.4% | 42.3% |
| 地域連携協力校との連携が限定的であることから、連携委員会を通じて連携の在り方を検討することが必要である。 | 61.5% | 23.1% | 15.4% |
| ○ 特例校間の連携における成果について | | | |
| 部活動の合同練習や生徒会交流などを通じて、両校の生徒の交流が深まったり、生徒の活動が活性化するなどした。 | 50.0% | 19.2% | 30.8% |
| 合同の校内研修会や講演会等を実施したことで、教員の研修の機会が増え、研修内容の充実が図られた。 | 38.5% | 23.1% | 38.5% |
| 単独では実施することが難しいが、芸術鑑賞や進路講話などを合同で実施することができ教育活動の充実が図られた。 | 11.5% | 42.3% | 46.2% |
| 教員の意識改革につながった。 | 42.3% | 34.6% | 23.1% |

| 質問内容 | 回答 | | | | | | | |
|--|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|--|
| | ①、② | ③ | ④、⑤ | | | | | |
| ○ 特例校間の連携における課題について | | | | | | | | |
| 部活動の合同練習や生徒会交流などの生徒の交流は、実施時期や時間の調整、交通費などの費用の問題がある。 | 57.7% | 15.4% | 26.9% | | | | | |
| 生徒間の交流が、生徒同士の主体的な取組となるよう、遠隔システムの有効活用など実施方法を検討することが必要である。 | 80.8% | 11.5% | 7.7% | | | | | |
| 生徒間の交流が、生徒会や特定の部活動だけとなっていることから、対象生徒の範囲を広げていくことが必要である。 | 34.6% | 46.2% | 19.2% | | | | | |
| 合同の校内研修会や講演会などをきっかけにして、教員が一層、連携することが必要である。 | 57.7% | 30.8% | 11.5% | | | | | |
| 合同で行う芸術鑑賞や進路講話などは、生徒の実態が異なることから、内容や実施時期などの調整が難しい。 | 42.3% | 26.9% | 30.8% | | | | | |
| 連携が限定的であることから、連携委員会を通じて連携の在り方を検討することが必要である。 | 53.8% | 26.9% | 19.2% | | | | | |
| ○ 地域学校協働活動の取組状況について (地域学校協働活動を実施した効果:①地域住民が主体的に学校運営や教育活動に参加するようになった/②地域の力を生かした学校運営や教育活動が実現した/③学校を中心に地域がつながり、地域の活動が活発になった/④地域の創意工夫や特性を生かすことで、学校の学びがより充実した/⑤学校の現状や方針への理解が深まり、地域が学校の応援団になった/⑥中学生が地元の高校に進学するきっかけになった/⑦生徒が地域に愛着を持ち、地域に貢献したい気持ちを醸成できた/⑧その他) | | | | | | | | |
| 学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動を実施している | 80.8% | 11.5% | 7.7% | | | | | |
| 地域学校協働活動を実施した効果について教えてください | | | | | | | | |
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | |
| 47.6% | 95.2% | 33.3% | 90.5% | 95.2% | 38.1% | 66.7% | 0.0% | |

10 地域連携特例校のある教育委員会

対象校数：25市町村(夕張市,月形町,寿都町,蘭越町,洞爺湖町,厚真町,むかわ町,平取町,函館市,福島町,長万部町,松前町,上ノ国町,下川町,美深町,苫前町,豊富町,北見市,津別町,清里町,佐呂間町,興部町,雄武町,釧路市,羅臼町)

回答者数：17名

①とても当てはまる/②まあ当てはまる/③どちらともいえない/④あまり当てはまらない/⑤全く当てはまらない

| 質問内容 | 今回 | | | | | | |
|--|--------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| | ①、② | ③ | ④、⑤ | | | | |
| ○ 地域連携特例校の成果について | | | | | | | |
| 遠隔授業や出張授業の実施により、他の同規模の小規模校と比べて、開設科目が多いなど教育課程が充実していること。 | 76.5% | 23.5% | 0.0% | | | | |
| 地域連携協力校との部活動や生徒会の交流などにより、他の小規模校と比べて生徒や教員の交流が図られていること。 | 52.9% | 35.3% | 11.8% | | | | |
| インターンシップやボランティアなど、地域の教育資源を有効に活用した教育活動が充実しており、地域に根ざした教育が推進されていること。 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | | | | |
| 小規模校の特性を生かし、生徒一人一人の良さを教職員が共通理解し、学校全体で生徒を育てる意識が高まること。 | 94.1% | 5.9% | 0.0% | | | | |
| 地域連携特例校における取組が、地域にも情報発信され、地元の高校に対する理解や信頼が深まったこと。 | 88.2% | 11.8% | 0.0% | | | | |
| ○ 地域連携特例校における課題について | | | | | | | |
| 小中学校から同じクラスで学んでいる仲間が多いことから、生徒の人間関係が固定化されがちである。 | 52.9% | 29.4% | 17.6% | | | | |
| 遠隔授業や出張授業など、普段は地域連携特例校にいない先生の授業を受けることに対して中学生を持つ保護者や生徒の不安が大きいこと。 | 11.8% | 23.5% | 64.7% | | | | |
| 小規模校のため、生徒のニーズに応える多様な選択科目の開設などが十分にされていないこと。 | 35.3% | 23.5% | 41.2% | | | | |
| 小規模校のため、設置できる部活動の種類が限られていること。 | 94.1% | 5.9% | 0.0% | | | | |
| 地元の中学校からの入学者が減少していること。 | 52.9% | 41.2% | 5.9% | | | | |
| ○ 高校が市町にあるメリット等について | | | | | | | |
| 地域の活性化が図られる。 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | | | | |
| 地元の子どもたちは、地元で育てようとの意識がより強くなり、市町が一体となって教育を推進していくことができる。 | 94.1% | 5.9% | 0.0% | | | | |
| 地元への理解が一層深まり、地域産業の担い手の確保にもつながる。 | 82.4% | 17.6% | 0.0% | | | | |
| 高校の教員を講師とした町民向けの講座の実施など、市町の生涯学習機関の役割を担うことができる。 | 58.8% | 29.4% | 11.8% | | | | |
| 遠距離通学や下宿等をしないで、子どもを高校に通わせることができる。 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | | | | |
| 市町に高校があるおかげで、通学費や下宿代をかけて遠方の高校に子どもを通わせなくてもよいことから、引き続き、小学生や中学生を持つ若い世代が町に居住しやすくなっている。 | 88.2% | 0.0% | 11.8% | | | | |
| ○ 国が進めている普通科改革に関することについて | | | | | | | |
| 高校が立地する地元自治体を中心とする地域・社会が抱える課題や魅力に着目した特色・魅力ある学びに重点的に取り組む新たな学科の必要性があると感じること | 70.6% | 29.4% | 0.0% | | | | |
| ○ 地域学校協働活動の取組状況について (地域学校協働活動を実施した効果:①地域住民が主体的に学校運営や教育活動に参加するようになった/②地域の力を生かした学校運営や教育活動が実現した/③学校を中心に地域がつながり、地域の活動が活発になった/④地域の創意工夫や特性を生かすことで、学校の学びがより充実した/⑤学校の現状や方針への理解が深まり、地域が学校の応援団になった/⑥中学生が地元の高校に進学するきっかけになった/⑦生徒が地域に愛着を持ち、地域に貢献したい気持ちを醸成できた/⑧その他) | | | | | | | |
| 学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動を実施している | 82.4% | 17.6% | 0.0% | | | | |
| 地域学校協働活動を実施した効果について教えてください | | | | | | | |
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ |
| 14.3% | 71.4% | 21.4% | 64.3% | 35.7% | 21.4% | 78.6% | 0.0% |

対象校数：23校(岩見沢東, 倶知安, 岩内, 伊達開来, 苫小牧東, 苫小牧西, 静内, 函館中部, 函館西, 函館商業, 八雲, 江差, 士別翔雲, 名寄, 留萌, 稚内, 北見北斗, 美幌, 北見柏陽, 網走南ヶ丘, 紋別, 釧路湖陵, 中標津)

回答者数：23名

①とても当てはまる/②まあ当てはまる/③どちらともいえない/④あまり当てはまらない/⑤全く当てはまらない

| 質問内容 | 回答 | | |
|---|-------|-------|-------|
| | ①、② | ③ | ④、⑤ |
| ○ 基本項目 | | | |
| 出張授業の有無について | 60.9% | 39.1% | |
| ○ 出張授業の成果と課題について | | | |
| 地域連携協力校において、出張授業の成果はあるか。 | 78.6% | 14.3% | 7.1% |
| 出張授業で地域連携特例校の授業を担当したことが、普段の地域連携協力校での授業にも生かされ、授業改善や指導力の向上につながっている。 | 85.7% | 0.0% | 14.3% |
| 地域連携特例校の教員との情報交換は、学習指導や生徒指導の工夫・改善など、地域連携協力校における教育活動の見直しの機会となっている。 | 85.7% | 0.0% | 14.3% |
| 地域連携特例校を含めた地域の高校教育を幅広い視野から見るようになった。 | 92.9% | 7.1% | 0.0% |
| ○ 授業以外の連携における成果について | | | |
| 部活動の合同練習や生徒会交流などを通じて、両校の生徒の交流が深まったり、生徒の活動が活性化するなどした | 56.5% | 34.8% | 8.7% |
| 合同の校内研修会や講演会等を実施したことで、教員の研修の機会が増え、研修内容の充実が図られた | 52.2% | 34.8% | 13.0% |
| 芸術鑑賞や進路講話など地域連携特例校と合同で実施することで教育活動の充実を図ることができた。 | 39.1% | 30.4% | 30.4% |
| 連携委員会を通じて地域連携特例校の教員との連携により、教員同士の理解が深まったり、教員の力量向上が図られた。 | 60.9% | 34.8% | 4.3% |
| 地域連携特例校との連携が教員の意識改革につながった。 | 60.9% | 34.8% | 4.3% |
| ○ 授業以外の連携における課題について | | | |
| 部活動の合同練習や生徒会交流などの生徒の交流は、実施時期や時間の調整、交通費などの費用の問題がある。 | 65.2% | 17.4% | 17.4% |
| 生徒間の交流が、生徒同士の主体的な取組となるよう、遠隔システムの有効活用など実施方法を検討することが必要である。 | 69.6% | 21.7% | 8.7% |
| 生徒間の交流が、生徒会や特定の部活動だけとなっていることから、対象生徒の範囲を広げていくことが必要である。 | 43.5% | 39.1% | 17.4% |
| 合同の校内研修会や講演会などをきっかけにして、地域連携協力校と地域連携特例校の教員が一層連携することが必要である。 | 73.9% | 21.7% | 4.3% |
| 地域連携特例校と合同で行う芸術鑑賞や進路講話などは、生徒の実態が異なることから、内容や実施時期などの調整が難しい。 | 47.8% | 17.4% | 34.8% |
| 地域連携特例校との連携が限定的であることから、連携委員会を通じて連携の在り方を検討することが必要である。 | 73.9% | 13.0% | 13.0% |